

JSCR Newsletter



日本糖質学会会報
JSCR Newsletter published by
The Japanese Society of Carbohydrate Research

令和元年度（第22回）日本糖質学会奨励賞 受賞者決定

日本糖質学会授賞選考委員会 委員長 蟹江 治
副委員長 加藤晃一

本年度第22回日本糖質学会奨励賞受賞者が決定されましたのでお知らせします。
この度は糖質学会会員の皆様から優れた候補者の推薦をいただきありがとうございました。選考委員の厳正な審査を経て、理事会にて下記の3名を受賞者として決定いたしました。
受賞者には心からお祝いを申し上げますとともに、今後の益々のご活躍を期待いたします。
なお、授賞式および受賞講演は本年8月19日から開催される日本糖質学会年会にて行います。

奨励賞

大海 雄介（中部大学）

シアル酸が関与する難治性疾患の病態メカニズムの解明

佐々木 要（東邦大学）

異常配座糖を基軸とする高立体選択的グリコシル化反応の開発

山口 拓実（北陸先端科学技術大学院大学）

常磁性NMR計測を活用した糖鎖の動的立体構造解析法の開発

（敬称略）

CONTENTS

■奨励賞 受賞者決定	蟹江治・加藤晃一◎1	■理事会議事録	◎4
■令和元年度総会開催のお知らせ	深瀬 浩一 ◎2	■理事・評議員・名誉会員・顧問・維持会員	◎7
■勘	長谷 純宏 ◎3	■年会プログラム	◎9

「令和元年度日本糖質学会 総会」開催のお知らせ

会員各位

日本糖質学会
会長 深瀬 浩一

令和元年度通常総会を下記要領で開催いたします。
万障お繰り合わせの上、ご参集くださるようお願い申し上げます。

記

- 日 時: 2019 年 8 月 19 日(月) 13:00～
場 所: 名古屋大学シンポジオン(B会場)(〒464-8601 名古屋市千種区不老町)
- 議 題: 1) 報告事項
- ① 会員数の推移
 - ② 会議の開催
 - ③ JSCR Newsletter の発行
 - ④ 平成 31 年度・令和元年度年会
 - ⑤ 第 22 回日本糖質学会奨励賞・第 1 回優秀講演賞・第 21 回ポスター賞
- 2) 審議事項
- ① 平成 30 年度収支決算ならびに監査報告
 - ② 令和元年度予算
 - ③ 役員改選
 - ④ 名誉会員・永年会員の推戴
- 3) その他の議案及び報告事項

勘

長谷 純宏

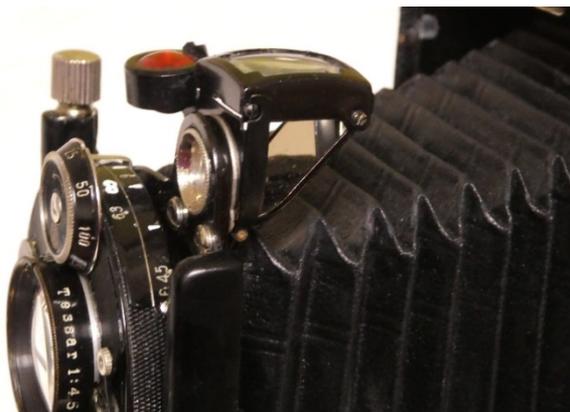
何を書いても良いという事でしたので、お引き受けしました。糖質の話からそれますが、私が趣味としている自然の撮影で近年感じていることを書きたいと思います。

きっかけは、ベルン市街をぶらぶらしていた時に、とあるカメラ店に展示してある 1920 年代の、ドイツ Contessa Nettel 社(現存しない)製で Carl Zeiss Jena, Tessar 120 mm レンズ付の見た目が比較的きれいな写真機(左図)、カメラと呼ばずに写真機と言う名前が似合う、が私の目を誘った事だった。レンズの目は私を連れ出して欲しいと言っている様に思えた。値段が安かったため、だめもとで購入した。カメラ店のおじいさんは、フィルムは市販品があるからとにこにこしていたが、日本に帰ってから分かったことですが、この写真機に用いるフィルムは半世紀以上前に既に販売終了で入手できず、撮影するには自分で工夫するより仕方なかった。市販の白黒ブローニーフィルム(幅 61 mm のフィルム)をカットし、写真機のフィルムホルダーを改造し撮影できる様にした。実際に撮影してみると最新のカメラで撮った写真と見間違えるような素晴らしい出来映えであった。私はこの魅力にとりつかれた。この時以降、デジカメが圧倒的なこの世の中で、私はブローニーフィルムを用いる手動の写真機に好感を持つようになった。この装置はレンズ、シャッター、絞り、蛇腹、フィルムホルダーが外から分かる簡単な構造で、シャッタースピード、絞り、ピント合わせ、フィルム送りは全て手動、もちろん手振れ補正機構やズーム機能はない。単純な構造のため、作った職人の苦勞の跡が感ぜられ、動作原理も理解し易い。被写体がフィルムに写るところから印画紙に像が見えるまでの化学的、物理的な理論や原理が理解し易く、撮影をより深く楽しめる。レンズも機体もそれぞれ個性が強く表れている。古くても修理してもらえ、自分でもある程度は修理や改造ができ、自分好みに多少は変更出来る。一方で、デジカメは年々自動化が進み、電気回路はブラックボックスであり、部品はプラスチック成形が多くなり、かつては撮影という本来の目的に集中して高度な職人技で作られていたものが、次第に見栄えが良い、生産ラインに都合の良い構造に変化し、洗練された高度な技術は薄められ、それを補うかのようにより複雑な電子回

路が組み込まれ、従って修理は難しく、ましてユーザーは手も足も出せない。レンズもかつては著名な設計者があみだしたものであり、設計者の思いがレンズ構成やレンズ名に現れているが、近年のコンピュータで設計される量産型のレンズは、個性少なく、デジカメ用の補正のため数多くのレンズが組み合わせられ、したがって高度なレンズコーティングを余儀なくされる。ユーザーは毎年のように発表される新機能の操作に慣れるのが精いっぱい、映像が見えるまでの電氣的、物理的な理論や原理を理解する気にもならない。おまけに、最新型はすぐ古くなり、次の最新型が欲しくなる。

速写や連写で数多くの写真を撮りその中から巷が称賛する一枚を選ぶにはデジカメとズームレンズが適していて、スポーツ写真や動物写真の撮影に優れているのは明らかである。このデジカメを手に入れば、AI が全て判断するので、押すだけであなたでも上手な写真が撮れます、とテレビの顔がにっこり微笑む。が、しかし、デジカメのユーザーは“何も考えずに押せば撮れる”という利便性を金で入手した代償として、慎重に構図をとり、レンズを選定し、適したフィルムをセットし、シャッター速度を選び、絞りを考え、ピントの位置を決め、シャッターを切る瞬間を何時間も無心で待ちながら、自然の中に美の片鱗の発見を狙う楽しみを犠牲にし、装置に振り回されかねない。

一方で、自然を観察し、そこに神が創った美の一端を発見し、それを、時間を止めて観賞できる写真を撮影するには写真機の方が適していると思う。最新テクノロジーが満載された装置よりも、むしろ、自我と意識から離れ自分と合一した状態になれる、自分の身体の一部のごとく使用できる、シンプルでも洗練された技術で作られた、勘に頼る手作業が残されている装置の方が、新しいものを見出すには良いのかもしれない、と思っている。



令和元年度役員(任期 2019. 7. 1～2021. 6. 30)

理事と監事は年会の評議員会および総会にて公表

評議員 (任期 2019. 7. 1～2021. 6. 30)

相川 京子 お茶の水女子大学基幹研究院自然科学系
 赤井 昭二 女子栄養大学応用有機化学研究室
 秋吉 一成 京都大学大学院工学研究科
 芦田 久 近畿大学生物理工学部
 天野 純子 (公財)野口研究所糖鎖生物学研究室
 荒田 洋一郎 帝京大学薬学部
 安藤 弘宗 岐阜大学生命の鎖統合研究センター
 池田 義孝 佐賀大学医学部
 池原 謙 千葉大学大学院医学研究院・腫瘍病理学
 石田 秀治 岐阜大学応用生物科学部・生命の鎖統合研究センター
 石原 雅之 防衛医科大学校防衛医学研究センター
 石水 毅 立命館大学生命科学部
 和泉 雅之 高知大学教育研究部
 板野 直樹 京都産業大学生命科学部
 一柳 剛 鳥取大学農学部
 伊藤 孝司 徳島大学大学院医歯薬学研究所
 伊藤 幸成 理化学研究所開拓研究本部
 糸乗 前 滋賀大学教育学部
 稲津 敏行 東海大学工学部
 井原 義人 和歌山県立医科大学医学部
 今井 康之 静岡県立大学薬学部
 今村 亨 東京工科大学応用生物学部
 岩渕 和久 順天堂大学大学院医療看護学研究所
 上村 和秀 中部大学生命健康科学部
 浦島 匡 帯広畜産大学畜産学部
 大谷 克城 酪農学園大学農食環境学群
 大坪 和明 熊本大学大学院生命科学研究部
 岡 昌吾 京都大学大学院医学研究科
 岡島 徹也 名古屋大学大学院医学系研究科
 小川 温子 お茶の水女子大学
 柿崎 育子 弘前大学大学院医学研究科
 角田 佳充 九州大学大学院農学研究院
 笠原 浩二 東京都医学総合研究所
 梶本 哲也 立命館大学総合科学技術研究機構・創薬科学研究センター
 梶原 康宏 大阪大学大学院理学研究科
 片山 高嶺 京都大学大学院生命科学研究科
 加藤 啓子 京都産業大学生命科学部
 加藤 晃一 自然科学研究機構生命創成探究センター
 門松 健治 名古屋大学大学院医学系研究科
 金川 基 神戸大学大学院医学研究科

金森 審子 東海大学工学部
 蟹江 治 東海大学工学部
 亀井 加恵子 京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科
 亀山 昭彦 産業技術総合研究所創薬基盤研究部門
 川崎 ナナ 横浜市立大学大学院生命医科学研究科
 川島 博人 千葉大学大学院薬学研究科
 北岡 本光 新潟大学農学部
 北川 裕之 神戸薬科大学薬学部
 北島 健 名古屋大学生物機能開発利用研究センター・大学院生命農学研究科
 北爪しのぶ 福島県立医科大学新医療系学部設置準備室
 木塚 康彦 岐阜大学研究推進・社会連携機構
 木下 聖子 創価大学理工学部
 木村 吉伸 岡山大学大学院環境生命科学研究科
 京ヶ島 守 日本薬科大学薬学部
 顧 建国 東北医科薬科大学分子生体膜研究所
 神田 大輔 九州大学生体防御医学研究所
 小島 直也 東海大学工学部
 近藤 昭宏 株式会社 日吉
 佐藤 あやの 岡山大学工学部
 佐藤 武史 長岡技術科学大学生物系
 佐藤 ちひろ 名古屋大学生物機能開発利用研究センター
 佐藤 智典 慶應義塾大学理工学部
 篠原 康郎 金城学院大学薬学部
 嶋田 一夫 東京大学大学院薬学系研究科
 島本 啓子 公益財団法人 サントリー生命科学財団
 清水 弘樹 産業技術総合研究所第 6 事業所 424 室
 須貝 威 慶應義塾大学薬学部
 鈴木 隆 静岡県立大学薬学部
 鈴木 匡 理化学研究所開拓研究本部
 隅田 泰生 鹿児島大学大学院理工学研究科
 鷹野 景子 お茶の水女子大学
 高橋 素子 札幌医科大学医学部
 竹川 薫 九州大学大学院農学研究院
 武田 陽一 立命館大学生命科学部
 竹松 弘 藤田医科大学医療科学部
 舘野 浩章 産業技術総合研究所糖鎖医工学研究センター
 田中 克典 理化学研究所田中生体機能合成化学研究室
 田中 浩士 東京工業大学物質理工学院
 田村 純一 鳥取大学農学部
 千葉 靖典 産業技術総合研究所糖鎖医工学研究センター
 戸嶋 一敦 慶應義塾大学理工学部
 戸谷希一郎 成蹊大学理工学部
 豊田 英尚 立命館大学薬学部
 豊田 雅士 東京都健康長寿医療センター研究所
 中川 優 名古屋大学大学院生命農学研究科
 中北 慎一 香川大学総合生命科学研究センター

中野 博文 愛知教育大学理科教育講座化学領域
 中山 淳 信州大学大学院医学系研究科
 長束 俊治 新潟大学理学部
 西河 淳 東京農工大学大学院農学研究院
 西島 謙一 名古屋大学大学院工学研究科
 西田 芳弘 千葉大学大学院園芸研究科・応用生命化学領域
 西村紳一郎 北海道大学大学院先端生命科学学院
 羽田 紀康 東京理科大学薬学部
 原田陽一郎 大阪国際がんセンター研究所
 東 伸昭 星薬科大学薬学部生化学教室
 東 秀好 東北医科薬科大学分子生体膜研究所
 比能 洋 北海道大学大学院先端生命科学研究院
 平林 淳 産業技術総合研究所創薬研究部門
 深瀬 浩一 大阪大学大学院理学研究科
 伏信 進矢 東京大学大学院農学生命科学研究科
 藤本ゆかり 慶應義塾大学理工学部
 藤山 和仁 大阪大学生物工学国際交流センター
 古川 圭子 中部大学生命健康科学部
 古川 潤一 北海道大学大学院医学研究院
 北條 裕信 大阪大学蛋白質研究所
 細野 雅祐 東北医科薬科大学分子生体膜研究所
 本家 孝一 高知大学医学部
 松尾 一郎 群馬大学大学院理工学研究科
 松岡 浩司 埼玉大学大学院理工学研究科
 松野 健治 大阪大学大学院理学研究科
 萬谷 博 東京都健康長寿医療センター研究所
 三浦 佳子 九州大学大学院工学研究院
 水野 真盛 (公財)野口研究所糖鎖有機化学研究室
 三苫 純也 九州保健福祉大学生命医科学部
 宮西 伸光 東洋大学食環境科学部食環境科学科
 三善 英知 大阪大学大学院医学系研究科
 門出 健次 北海道大学大学院先端生命科学研究院
 矢部 富雄 岐阜大学応用生物科学部
 山口 拓実 北陸先端科学技術大学院大学
 山口 真範 和歌山大学教育学部
 山口 芳樹 東北医科薬科大学薬学部
 山田 修平 名城大学薬学部・病態生化学研究室
 山田 英俊 関西学院大学理工学部
 山ノ井 孝 城西大学薬学部
 山本 一夫 東京大学大学院新領域創成科学研究科
 湯浅 英哉 東京工業大学大学院生命理工学研究科
 横山 三紀 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科
 渡辺 秀人 愛知医科大学分子医科学研究所

名誉会員

池中 徳治	石戸 良治	伊東 信
遠藤 玉夫	小川 智也	小倉 治夫
笠井 献一	川崎 敏祐	木曾 真
木下 タロウ	木全 弘治	楠本 正一
木幡 陽	須網 哲夫	鈴木 明身
鈴木 邦彦	鈴木 茂生	鈴木 康夫
谷口 直之	成松 久	西原 祥子
箱守 仙一郎	橋本 弘信	長谷 純宏
古川 鋼一	村松 喬	山形 達也
山本 憲二		

顧問

一島 英治

維持会員

協和発酵キリン (株)
 (一財) 杉山産業化学研究所
 (株) スティックスバイオテック
 住友ベークライト (株)
 生化学工業 (株)
 DSP 五協フード&ケミカル (株)
 東京化成工業 (株)
 長良サイエンス (株)
 (公財) 野口研究所
 (株) 伏見製薬所
 松谷化学工業 (株)
 (株) ヤクルト
 理研ビタミン (株)

第 38 回日本糖質学会年会 (日本糖質学会創設 40 周年記念大会)

主 催 日本糖質学会

共 催 シアル酸研究会、シクロデキストリン学会、セルロース学会、日本栄養・食糧学会、日本応用糖質科学会、日本化学会、日本キチン・キトサン学会、日本植物生理学会、日本神経科学学会、日本生化学会、日本生物工学会、日本生物物理学会、日本蛋白質科学会、日本分子生物学会、日本薬学会、名古屋大学生物機能開発利用研究センター

協 賛 高分子学会、繊維学会、日本再生医療学会、日本食品科学工学会、日本農芸化学会、日本膜学会、有機合成化学協会、野口研究所

後 援 日本炎症・再生医学会、日本核磁気共鳴学会、日本癌学会、日本基礎老化学会、日本ケミカルバイオロジー学会、日本発生生物学会、日本免疫学会、日本脂質生化学会

会 期 2019 年 8 月 19 日 (月) ~ 21 日 (水)

会 場 名古屋大学豊田講堂・シンポジオン
〒464-8601 名古屋市千種区不老町
地下鉄名城線 名古屋大学駅 2 番出口下車 徒歩 2 分

参加費 日本糖質学会正会員および共催協賛後援学会正会員: 7,000 円 (9,000 円)
日本糖質学会学生会員および共催協賛後援学会学生会員: 2,000 円 (4,000 円)
一般: 9,000 円 (11,000 円)
一般学生: 3,500 円 (4,000 円)
()内は 2019 年 8 月以降申込の金額です

評議員会 日時: 2019 年 8 月 19 日 (月) 12:00-13:00
会場: 名古屋大学シンポジオン(B 会場)

総 会 日時: 2019 年 8 月 19 日 (月) 13:00-14:00
会場: 名古屋大学豊田講堂 (A 会場)

懇親会 日時: 2019 年 8 月 20 日 (火) 19:00-21:00
会場: ホテルナゴヤキャッスル (学会会場からバス送迎)
〒451-8551 愛知県名古屋市西区樋の口町 3 番 19 号

日 程 表

8月19日 (月)				8月20日 (火)				8月21日 (水)								
A会場	B会場	C会場	ポスター会場	8:30	A会場	B会場	C会場	ポスター会場	8:30	A会場	B会場	C会場	ポスター会場			
			ポスター 掲示	8:30					8:30							
優秀講演 賞第2次 審査	代謝と 制御	神経・ 脳		9:00	糖鎖生 合成と 分解1	糖鎖関連 分子の物 性・分析 1	ワーク ショップ WS-05			9:00	ケミカル バイオロ ジー1	糖鎖と がん制御	ワーク ショップ WS-07			
合成1	分析法 開発	ワーク ショップ WS-01		10:00	糖鎖生 合成と 分解2	糖鎖関連 分子の物 性・分析 2	ワーク ショップ WS-06	ポスター 掲示		10:00	ケミカル バイオロ ジー2	糖鎖と 診断・ 治療	レクチン と 細胞制御	ポスター 掲示		
	評議員会			10:30		ランチョン セミナー (株)島津製 作所				10:30						
総会・ 表彰式				11:00				ポスター 掲示		11:00						
奨励賞 講演				11:30						11:30						
男女共同 参画企画				12:00						12:00						
				12:30						12:30						
				13:00						13:00						
				13:30					ポスター 掲示	13:30				ポスター 掲示		
			14:00					ポスター 掲示	14:00				ポスター 掲示			
			14:30						14:30	糖鎖 による 機能制御	分析法 ・合成2	免疫・ 生体防御	ポスター 掲示			
			15:00	40周 年記 念シ ンポ ジウ ム					15:00							
			15:30						15:30							
			16:00						16:00	糖鎖異常 と病態	合成3	ワーク ショップ WS-08	ポスター 撤去			
			16:30						16:30							
			17:00						17:00							
			17:30						17:30							
			18:00	バスで移動												
			18:30	懇親会 ホテルナゴヤキャッスル												
			19:00													
			19:30													
			20:00													
			20:30													
			21:00													

A会場：豊田講堂(1F)
 B会場：シンポジオン(1F)
 C会場：第一会議室(3F)
 ポスター会場：1F&2F

日本糖質学会創設 40 周年記念大会シンポジウム
「不惑の日本糖質科学：原点回帰して飛躍の 10 年へ」
8 月 20 日 A 会場 14:30-17:50

14:30 開会の辞 北島 健 (名古屋大学)

日本糖質学会 40 年を振り返る

座長：古川 鋼一 (中部大学)

14:35 2A-S1 日本糖質学会創設 40 周年に想う
川崎 敏祐 (立命館大学)

14:59 2A-S2 融合領域を育む学会間の交流
-会長当時のエピソードを中心に-
稲津 敏行 (東海大学)

糖質科学研究；世界との繋がりの中で

座長：北島 健 (名古屋大学)

15:23 2A-S3 **Future of Asian Glycoscience Research**
Jin Won Cho (Yonsei University)

15:47 2A-S4 **Toward an integrated view of glycan importance
in host-pathogen interaction**
Yann Guérardel (Université de Lille)

糖質科学の未来への提言

座長：飯島 信司 (愛知工業大学)

16:11 2A-S5 糖鎖領域とあらゆる生命科学領域の融合と相互理解
西原祥子 (創価大学)

16:35 2A-S6 炭水化物研究
梶原康宏 (大阪大学)

糖質科学研究の夢への挑戦

座長：石田 秀治 (岐阜大学)

16:59 2A-S7 オルトゴナルグリコシル化や抗インフルエンザ薬
などの研究と社会的な背景の関係ーここから見える
希望と限界
蟹江 治 (東海大学)

17:23 2A-S8 “誰もやってない研究“をやることは無謀なことか？
鈴木 匡 (理化学研究所)

17:47 閉会の辞 北島 健 (名古屋大学)

ワークショップ 8月19日

10:30-12:00 C会場

WS-01 日本の糖鎖科学データベース ：糖質科学の飛躍のための意見交換会

オーガナイザー：山田 一作 (野口研究所)、木下 聖子 (創価大学)

糖鎖科学データベースの現状とワークショップの趣旨

GlycoNAVI～糖鎖立体構造とグリコフォーム

山田 一作 (野口研究所)

糖鎖研究に役立つデータベース開発を目指して：**ACGG-DB**

梶谷内 晶 (産業技術総合研究所)

糖鎖・糖タンパク質用質量分析リポジトリ **GlycoPOST** の開発

奥田 修二郎 (新潟大学)

国際糖鎖構造リポジトリ **GlyTouCan**

新町 大輔 (Sparqlite)

糖鎖科学ポータル **GlyCosmos**

木下 聖子 (創価大学)

16:00-17:30 A会場

WS-02 がん病態を読み解く最新の糖鎖スコープ

オーガナイザー：大坪 和明 (熊本大学)、北爪 しのぶ (福島県立医科大学)

次世代型糖鎖抗体を使った新しいがんバイオマーカーの開発と
病態解析

三善 英知 (大阪大学)

胃癌の発生を制御する腺粘液糖鎖

中山 淳 (信州大学)

がん細胞の有無・位置・状態が解る糖鎖マーカー

中の 三弥子 (広島大学)

糖鎖模倣ペプチドを用いた悪性脳腫瘍治療

野中 元裕 (京都大学)

アストロサイトの活性化分子、**PTPRZ1**

北爪 しのぶ (福島県立医科大学)

糖鎖が作り出す利己的がん微小環境

大坪 和明 (熊本大学)

16:00-17:30 B 会場

WS-03 複合糖質の合成・輸送・分解を担うオルガネラゾーン

オーガナイザー：矢木 宏和 (名古屋市立大学)、後藤 聡 (立教大学)

GPI 修飾ゾーンの解析

後藤 聡 (立教大学)

糖転移酵素の局在に着目したタンパク質特異的な糖鎖修飾機構の解析

矢木 宏和 (名古屋市立大学)

成熟するゴルジ槽内のゾーン形成と積荷タンパク質輸送の可視化

黒川 量雄 (理化学研究所)

乳がん細胞における O 結合型糖鎖修飾を介した小胞体ストレス

応答活性化機構の解明

片桐 豊雅 (徳島大学)

プロテオグリカン型及びムチン型糖鎖修飾を担うオルガネラ・

ゾーンの増強機構

吉田 秀郎 (兵庫県立大学)

16:00-17:30 C 会場

WS-04 実践的グリコシル化反応

オーガナイザー：眞鍋 史乃 (理化学研究所)、北岡 本光 (新潟大学)

無保護糖質に対する位置および 1,2-cis-立体選択的グリコシル化反応

～標的糖質の短段階・高選択的合成を目指して～

高橋 大介 (慶応義塾大学)

糖トリアジン誘導体の合成と利用

ー保護基フリーグリコシル化反応への挑戦ー

田中 知成 (京都工芸繊維大学)

水溶液中における糖脂質の脱ミセル化と NMR 法による性状解析

山口 芳樹 (東北医科薬科大学)

構造均一糖タンパクの化学合成

朝井 洋明 (糖鎖工学研究所)

ワークショップ 8月20日

9:00-10:30 C会場

WS-05 希少糖プロジェクト 第2弾 !!

オーガナイザー：塚本 郁子 (香川大学)、中北 慎一 (香川大学)

D-Allulose の腸ホルモン GLP-1 分泌を介した摂食・糖代謝調節機能

岩崎 有作 (京都府立大学)

希少糖の世界展開～D-アルロースを中心に～

徳田 雅明 (香川大学)

希少糖によるマラリア伝播阻止

新井 明治 (香川大学)

天然型単糖メチル-L-ソルボシドの機能性について

竹下 圭 (株式会社伏見製薬所)

希少糖のスピンオフ研究

塚本 郁子 (香川大学)

10:30-12:00 C会場

WS-06 糖脂質を基軸とした横展開

オーガナイザー：下山 敦史 (大阪大学)、樺山 一哉 (大阪大学)

リピド A の化学合成を基盤とした細菌-宿主間のケミカルエコロジー

下山 敦史 (大阪大学)

ガングリオシドのアシル鎖構造に基づいた自然免疫応答の調節機構

狩野 裕考 (東北医科薬科大学)

NKT 細胞を活性化する糖脂質リガンドの創製と機能解析

井貫 晋輔 (京都大学)

リポ多糖によるスフィンゴ糖脂質の脂質ラフトを介した炎症誘導機構

中山 仁志 (順天堂大学)

免疫系細胞の機能を評価するためのイメージング技術

樺山 一哉 (大阪大学)

ワークショップ 8月21日

9:00-10:30 C会場

WS-07 進化（深化）する NGLY1 研究

オーガナイザー：鈴木 匡 (理化学研究所)、藤平 陽平 (順天堂大学)

マウス成体肝臓における Ngly1 の重要性

藤平 陽平 (順天堂大学)

Ngly1 と糖鎖認識ユビキチンリガーゼ SCFFbxo6 のマウスにおける
遺伝的相互作用

吉田 雪子 (東京都医学総合研究所)

NGLY1 研究を化学的アプローチにより加速させたい 細胞内エンド
グリコシダーゼ活性検出系の開発

松尾 一郎 (群馬大学)

患者由来 iPS 細胞を用いた NGLY1 欠損症の病態解析

亀井 孝幸 (武田薬品工業株式会社)

16:00-17:30 C会場

WS-08 細胞外微小環境学の最前線

オーガナイザー：原田 陽一郎 (大阪国際がんセンター研究所)、
宮田 真路 (東京農工大学)

神経細胞周囲の細胞外微小環境における糖鎖の多様性とその機能

宮田 真路 (東京農工大学)

外傷性損傷による脊髄の微小環境変化と神経再生

兼清 健志 (藍野大学)

老化皮膚における幹細胞の糖鎖プロファイリングと分子基盤の解明

佐田 亜衣子 (筑波大学)

細胞外小胞エクソソームによるがん悪性化機構の解明とその治療戦略

小坂 展慶 (東京医科大学)

細胞外小胞の不均一性とその形成における N 型糖鎖修飾の役割

原田 陽一郎 (大阪国際がんセンター研究所)

奨励賞受賞講演 8月19日 A会場 14:00-15:00

座長：蟹江 治 (東海大学)・加藤 晃一 (自然科学研究機構)

- 14:00 **1A-P1** シアル酸が関与する難治性疾患の病態メカニズムの解明
大海 雄介 (中部大学)
- 14:20 **1A-P2** 異常配座糖を基軸とする高立体選択的グリコシル化反応の開発
佐々木 要 (東邦大学)
- 14:40 **1A-P3** 常磁性 NMR 計測を活用した糖鎖の動的立体構造解析法の開発
山口 拓実 (北陸先端科学技術大学院大学)

男女共同参画企画 8月19日 A会場 15:00-15:50

座長：柿崎 育子 (弘前大学)

- 15:00 **1A-G1** 組織の活性化戦略としての男女共同参画のすすめ
東村博子 (名古屋大学)

優秀講演賞第2次審査

8月19日 A会場 9:00-10:20

座長：蟹江 治 (東海大学)、加藤 晃一 (自然科学研究機構)

- 9:00 1A-01 統合失調症患者に見出される ST8SIA2 のプロモーター領域 rSNP のインパクトの解析
○羽根 正弥¹、早川 敏之²、北島 健¹、佐藤 ちひろ¹ (¹名大・生物機能セ、²九大・基幹教育院)
- 9:20 1A-02 ハイブリッド結合型カルレティキュリン阻害剤の開発
○栗原 大輝¹、柴山 佳大¹、平野 真²、足立 優花¹、武田 陽一³、伊藤 幸成⁴、戸谷 希一郎¹ (¹成蹊大・理工、²安田女子大・薬、³立命館大・生命科学部、⁴理研)
- 9:40 1A-03 ボロン酸触媒を用いたメソジオールに対する非対称化型立体選択的グリコシル化反応の開発
○田中 将道、佐藤 公治、吉田 亮毅、高橋 大介、戸嶋 一敦 (慶應大・理工)
- 10:00 1A-04 遊離硫酸基を有する糖供与体を用いたグリコシル化反応と硫酸化糖鎖合成への応用
○満保 章泰、信藤 紘樹、真木 勇太、岡本 亮、山中 秀介、奥村 光隆、梶原 康宏 (阪大院理)

口頭発表 8月19日 A会場

セッション 「合成1」 10:30-11:50

座長：梶原 康宏 (大阪大学)、石渡 明弘 (理化学研究所)

- 10:30 1A-05 (A) α -1-4-D-グルコピラノシド環状三・四量体の存在実証
生田 大喜¹、平田 恭章¹、若森 晋之介¹、嶋田 浩聡¹、苫米地 裕輔²、川崎 友莉¹、池内 和忠³、萩森 資¹、松本 慎太郎¹、○山田 英俊¹ (¹関西学院大・理工、²東海大・工、³北大院・総合化学)
- 10:55 1A-06 (B) 最小シクロデキストリン合成法の改良
○萩森 資、若森 晋之介、山田 英俊 (関西学院大・理工)
- 11:10 1A-07 (B) β グルカン分岐オリゴ糖の合成とその Dectin-1 との結合評価
濱上 大基¹、安達 禎之²、大野 尚仁²、○田中 浩士¹ (¹東工大・物質理工学院、²東京薬大・薬)
- 11:25 1A-08 (A) N-アセチルおよび N-グリコリルシアル酸含有 α (2,8)ジ・オリゴ・ポリシアル酸の合成研究
○東田 和樹、鯉沼 僚輔、田中 浩士 (東工大・物質理工学院)

口頭発表 8月19日 B会場

セッション 「代謝と制御」 9:00-10:25

座長：矢部 富雄 (岐阜大学)、南 彰 (静岡県立大学)

- 9:00 **1B-01 (B)** 糖ヌクレオチド：UDP-GlcNAc による複合糖質代謝制御機構
○郷 慎司、松田 純子 (川崎医科大学・病態代謝学)
- 9:15 **1B-02 (A)** スクロース代謝の新パラダイム
○小田 裕昭 (名大院・生命農学)
- 9:40 **1B-03 (B)** シアリダーゼアイソザイム Neu3 によるインスリン分泌の制御
○南 彰¹、藤田 優香¹、大坪 忠宗²、池田 潔²、紅林 祐希¹、
高橋 忠伸¹、宮城 妙子³、鈴木 隆¹ (¹静岡県大院・薬、
²広島国際大・薬、³宮城がんセ研)
- 9:55 **1B-04 (B)** 糖尿病性腎症における腎 Gb3Cer 発現誘導機構に関する解析
○新田 昂大、狩野 裕考、稲森 啓一郎、鈴木 明身、井ノ口 仁一
(東北医科薬科大学・分子生体膜研究所)
- 10:10 **1B-05 (B)** 炎症性疼痛時の脊髄における糖脂質の機能
○渡辺 俊^{1,2}、森田 元樹^{1,2}、阿部 茉莉絵^{1,2}、須釜 哲^{1,2}、尾山 実砂^{1,2}、
岩井 孝志^{1,2}、田辺 光男^{1,2} (¹北里大学薬学部薬理学、²北里大学
薬学部附属医薬研究施設)

セッション 「分析法開発」 10:30-12:00

座長：中嶋 和紀 (藤田医科大学)、水本 秀二 (名城大学)

- 10:30 **1B-06 (A)** キラルカラムを用いた LC-MS 法によるスフィンゴ糖脂質一斉分析系
の構築
藤原 優子、濱 弘太郎、○横山 和明 (帝京大・薬)
- 10:55 **1B-07 (B)** Notch 受容体上の O-結合型糖鎖修飾の質量分析計を用いた網羅的解析
○塚本 庸平、浦田 悠輔、齊木 颯、小川 光貴、竹内 英之、岡島 徹也
(名大院・医)
- 11:10 **1B-08 (A)** ゲノムワイドスクリーニングによって同定された糖鎖発現制御因子
の解析
○山地 俊之¹、関塚 剛史²、花松 久寿³、黒田 誠²、古川 潤一³、
八尋 錦之助⁴、花田 賢太郎¹ (¹感染研・細胞化学、²感染研・
病原体ゲノム、³北大・院・医、千葉大・院・医)

- 11:35 **1B-09 (A)** 糖鎖リプログラミングを目指した糖鎖合成経路の可視化
黄 一帆¹、青木 一弘²、赤瀬 幸子³、石原 真由美²、高 暁冬¹、
木下 聖子³、○藤田 盛久¹(¹江南大・生物工程、²ジョージア大・
CCRC、³創価大・理工学部)

口頭発表 8月19日 C会場

セッション 「神経・脳」 8:55-10:25

座長：坂元 一真 (名古屋大学)、山田 修平 (名城大学)

- 8:55 **1C-01 (B)** 脳で強く発現するムチン型糖鎖合成酵素を2重に欠失したゼブラ
フィッシュ変異体の作製
○中村 直介¹、辻本 優季¹、中山 喜明²、小西 守周²、黒坂 光³
(¹京産大・総生・生命システム、²神戸薬大・微生物、³京産大・生命・
先端生命)
- 9:10 **1C-02 (B)** 嗅球及び前頭前野における急性ストレスによるポリシアル酸減少
メカニズムの解明
○阿部 智佳羅^{1,2}、羽根 正弥^{1,2}、北島 健^{1,2}、佐藤 ちひろ^{1,2}
(¹名大・生物機能セ、²名大院・生命農学)
- 9:25 **1C-03 (B)** 神経可塑性に関わるセマフォリン3Aが認識する糖鎖構造の解析
○灘中 里美¹、宮田 真路²、田村 純一³、北川 裕之¹
(¹神戸薬大薬・生化、²東京農工大・農、³鳥取大農・生命環境農)
- 9:40 **1C-04 (B)** コンドロイチン硫酸Dによる神経制御メカニズムの解析
志田 美春¹、○三上 雅久¹、田村 純一²、北川 裕之¹
(神戸薬大薬・生化、²鳥取大農・生命環境農)
- 9:55 **1C-05 (B)** 健常人脳脊髄液に含まれるスフィンゴ糖脂質プロファイル
○中嶋 和紀¹、村手 健一郎²、島 さゆり²、水谷 泰彰²、新美 芳樹²、
植田 晃広²、渡邊 宏久²、武藤 多津郎²
(¹藤田医大・研究支援、²藤田医大・医学部脳神経内科)
- 10:10 **1C-06 (B)** St3gal4欠損マウスにおける尿中揮発性有機化合物と情動行動の解析
○藤田 明子¹、奥野 貴也¹、織田 美伽¹、古川 潤一²、加藤 啓子¹
(¹京産大院・生命、²北大院・医学)

口頭発表 8月20日 A会場

セッション 「糖鎖生合成と分解1」 8:55-10:25

座長：佐藤 匡史 (名古屋市立大学)、竹内 英之 (名古屋大学)

- 8:55 **2A-01 (A)** **構造学的なアプローチによる 細胞外 O-GlcNAc 修飾の分子機能解析**
 ○小川 光貴¹、矢木 宏和²、田嶋 優子¹、妹尾 勇弥^{1,3}、池田 和貴³、
 加藤 晃一^{2,4}、竹内 英之¹、岡島 徹也¹ (1名大院・医、²名市大院・薬、
³かずさ DNA 研究所、⁴生命創成探求センター)
- 9:20 **2A-02 (A)** **統合的な AFM, NMR, 電顕単粒子解析により明らかにされたオリゴ糖
 転移酵素の動的構造**
 川崎 由貴¹、有山 弘高²、藤浪 大輔¹、本村 肇¹、Ashutosh Srivastava³、
 Florence Tama³、能代 大輔²、安藤 敏夫²、真柳 浩太¹、○神田 大輔¹
 (1九大・生医研、²金沢大・WPI ナノ生命、³名大・WPI ITbM)
- 9:45 **2A-03 (A)** **高等動物における N 型糖鎖トリミングを基軸とした小胞体関連分解機構
 の解析**
 ○蜷川 暁¹、Ginto George¹、矢木 宏和²、住友 嘉樹¹、神谷 由紀子³、
 石川 時郎¹、武田 俊一⁴、佐久間 哲史⁵、山本 卓⁵、加藤 晃一^{2,3}、
 岡田 徹也¹、森 和俊¹ (1京大院・理学、²名市大院・薬学、³生命創成セ、
⁴京大院・医学、⁵広大・理学)
- 10:10 **2A-04 (B)** **Regulation of GPI biosynthesis by the ER-associated degradation
 system**
 ○Yi-Shi Liu^{1,2}、Yi-Cheng Wang¹、Yoshiko Murakami¹、Moriyama Fujita²、
 Taroh Kinoshita¹ (1Osaka University、²Jiangnan University)

セッション 「糖鎖生合成と分解 2」 10:30-12:00

座長：鈴木 隆 (静岡県立大学)、木塚 康彦 (岐阜大学)

- 10:30 **2A-05 (A)** **Studies on the serum sialyl oligosaccharides**
 ○黄 澄澄¹、清野 諄一¹、藤平 陽彦^{1,2}、鈴木 匡¹
 (1理研・開拓研究本部、²順天堂大院・医)
- 10:55 **2A-06 (A)** **脊椎動物における硫酸化シアル酸の存在、生合成および生物学的重要性
 の解明**
 ○Nursah Ertunc^{1,2}、Thanyaluck Phitak¹、藤田 洋^{1,2}、佐藤 ちひろ^{1,2}、
 北島 健^{1,2} (1名大・生物機能セ、²名大院・生命農学)
- 11:20 **2A-07 (B)** **核局在型シアリダーゼによる複合糖質の脱シアリル化およびその生理
 機能**
 ○本田 晃伸¹、蓑田 真也²、小松 正治^{1,2}、塩崎 一弘^{1,2}
 (1鹿大・連合農学・応用生命、²鹿大・水産・食品生命)
- 11:35 **2A-08 (A)** **Aspergillus 属糸状菌の菌糸体形成に重要な β-D-ガラクトフラノシダーゼ
 の役割**
 松永 恵美子¹、山田 久恵¹、樋口 裕次郎¹、岡 拓二²、田中 大³、
 ○竹川 薫¹ (1九大院・農、²崇城大・生物生命、³東北医科薬科大)

口頭発表 8月20日 B会場

セッション 「糖鎖関連分子の物性・分析1」 9:00-10:30

座長：比能 洋 (北海道大学)、安藤 弘宗 (岐阜大学)

- 9:00 2B-01 (A) 単鎖型糖脂質ガラス
○小河 重三郎 (成蹊大・理工)
- 9:25 2B-02 (B) 色調変化を示す糖脂質型超分子ヒドロゲルの構造拡張
○越智 里香¹、大住 僚也²、和泉 雅之¹ (1高知大・理工、2高知大・理)
- 9:40 2B-03 (A) 透明なアガロースゲルの原理
○田幸 正邦^{1,2}、上地 敬子¹、玉城 志博³、小西 照子¹
(1琉球大・生資科、2健康長寿科研、3琉球大・分子生命科研セ)
- 10:05 2B-04 (A) ニホンジカ(*Cervus nippon*)鹿茸と消化管に含まれるグリコサミノグリカンの分析
○武田-奥田 尚子¹、水本 秀二²、Zui Zhang³、金 守基⁴、李 致鎬⁴、全 炳台⁵、延 水晶¹、保坂 善真⁶、門松 健治³、山田 修平²、田村 純一¹ (1鳥取大・農、2名城大・薬、3名大・医、4建国大・動物生命、5建国大・鹿茸研、6鳥取大・農・共同獣医)

セッション 「糖鎖関連分子の物性・分析2」 10:35-12:00

座長：田村 純一 (鳥取大学)、蟹江 治 (東海大学)

- 10:35 2B-05 (B) メープルシロップから発見されたインベルターゼ阻害効果を有する新規オリゴ糖の同定
○佐藤 完太¹、長井 紀章²、山本 哲志²、三田村 邦子²、多賀 淳^{2,3}
(1近大院・薬学、2近大・薬学、3近大・アンチエイジングセンター)
- 10:50 2B-06 (B) ムチン型糖タンパク質の陰イオン交換クロマトグラフィーについて
望月 杏莉¹、○丑田 公規^{1,2}、小田 暁¹ (1北里大・院理、2北里大・理)
- 11:05 2B-07 (B) FPG および IPG 法による標的タンパク質における N-結合型糖鎖解析法の開発
○花松 久寿¹、小林 隆史²、小川 浩司¹、羽藤 愛美²、吉永 知世²、森川 賢一¹、須田 剛生¹、荘 拓也¹、中井 正人¹、東野 賢一²、沼田 義人²、篠原 康郎³、坂本 直哉¹、古川 潤一¹ (1北大院 医、2塩野義製薬株式会社、3金城大 薬)
- 11:20 2B-08 (B) シアリル化糖鎖・複合糖質の直接 MALDI-TOFMS 解析法
○比能 洋 (北大・先端生命)

- 11:35 2B-09 (A) O-型糖鎖遊離法のブレークスルーと分子マトリックス電気泳動によるムチン分析への応用
○亀山 昭彦¹、ウェイウェイテッティン¹、豊田 雅哲²、阪口 碧²
(¹産総研 創薬基盤、²住友ベークライト)

口頭発表 8月21日 A会場

セッション 「ケミカルバイオロジー1」 8:55-10:30

座長：田中 浩士 (東京工業大学)、山口 拓実 (北陸先端科学技術大学院大学)

- 8:55 3A-01 (A) 新規がん免疫療法の開発を目指したハイブリッド複合糖質の合成とその機能解析
○真鍋 良幸¹、Tsung-Che Chan¹、Julinton Sianturi¹、藤本 ゆかり²、大島 志乃³、亀谷 美恵³、種村 匡弘⁴、高松 真二⁵、三善 英知⁵、樺山 一哉¹、深瀬 浩一¹ (¹阪大院理、²慶応大理工、³東海大医、⁴りんくう総合医療センター、⁵阪大院医院・医)
- 9:20 3A-02 (A) 化学合成不凍糖タンパク質を利用したタンパク質糖鎖修飾機能の解明研究
○岡本 亮¹、折井 亮¹、芝田 大之¹、深見 大地^{2,3}、津田 栄^{2,3}、満保 章泰¹、真木 勇太¹、梶原 康宏¹ (¹阪大院理、²産総研、³北大院生命院)
- 9:45 3A-03 (B) シアル酸転移酵素の半合成と活性評価
○島田 有彩¹、真木 勇太¹、岡本 亮¹、和泉 雅之¹、伊藤 幸成²、梶原 康宏¹ (¹阪大院理、²理研)
- 10:00 3A-04 (B) 未結合状態の糖鎖のコンフォメーション空間の改変によるレクチン親和性の向上
○鈴木 達哉^{1,2}、谷中 冴子^{1,2}、渡邊 東紀男²、Gengwei Yan³、佐藤 匡史²、矢木 宏和²、山口 拓実³、加藤 晃一^{1,2} (¹自然科学研究機構 ExCELLS / 分子研、²名市大薬、³北陸先端大マテリアル)
- 10:15 3A-05 (B) 四成分脂質モデル膜を用いた GM1 の脂質間相互作用とドメイン形成の解明
○花島 慎弥¹、安田 智一¹、村田 道雄¹、安藤 弘宗²、鈴木 健一²、木下 祥尚³、松森 信明³、J. Peter Slotte⁴ (¹阪大院・理、²岐阜大・G-CHAIN、³九大院・理、⁴Abo Akademi 大学)

セッション 「ケミカルバイオロジー 2」 10:35-12:00

座長：中川 優 (名古屋大学)、高橋 大介 (慶應義塾大学)

- 10:35 3A-06 (B) Dansyl 修飾トリアルギニンを用いたガングリオシドの蛍光イメージング
○松浦 和則¹、久本 晃一²、田中 智也²、稲葉 央¹
(¹鳥取大・学術研究院、²鳥取大院・持続性社会創生科学)

- 10:50 **3A-07 (B)** **FRET 型 β -1,3-グルカンオリゴ糖プローブの合成と評価**
 ○宮川 淳¹、金野 克博¹、大野 綾音¹、織田 昌幸²、山村 初雄¹
 (1名工大院・工、²京府大院・生命環境科学)
- 11:05 **3A-08 (B)** **ビオチン化コンドロイチン硫酸四糖の合成とその分子親和性**
 ○田村 純一^{1,2,3}、上村 明寿美¹、松下 健也²、中田 有美³、
 灘中 里美⁴、北川 裕之⁴
 (1鳥大院・農、²鳥大院・工、³鳥大・地域、⁴神戸薬大・薬)
- 11:20 **3A-09 (B)** **D-アラビナン分解酵素群の機能解析へ向けた D-アラビナンフラグメント
 及びプローブの合成**
 ○石渡 明弘、伊藤 幸成 (理研・開拓研究本部)
- 11:35 **3A-10 (A)** **新規複合糖質研究ツール：基質特異的分解追跡を可能にする
 分子プローブ**
 ○平井 剛¹、木室 佑亮¹、土井 一毅¹、深澤 亮²、大沼 可奈²、
 袖岡 幹子² (1九大院薬、²理研)

セッション 「糖鎖による機能制御」 14:30-16:00

座長：岡島 徹也 (名古屋大学)、矢木 宏和 (名古屋市立大学)

- 14:30 **3A-11 (A)** **脊椎動物の進化史と生物種特異的な糖鎖の発現**
 ○鈴木 詔子 (新潟大・院・自然)
- 14:55 **3A-12 (A)** **細胞内外の糖鎖発現とインテグリン機能とその制御**
 ○顧 建国、伊左治 知弥、福田 友彦 (東北医科薬科大・分生研)
- 15:20 **3A-13 (A)** **ErbB 受容体の糖鎖の構造と機能**
 ○高橋 素子¹、藤谷 直樹¹、和田 芳直²、加藤 公児³、姚 関³
 (1札医大・医・医化学、²大阪母子医療セ・代謝、
³北大・先端生命科学研究院・X線構造生物学)
- 15:45 **3A-14 (B)** **PI4KIIa とインテグリン $\alpha 3\beta 1$ の複合体形成による N-型糖鎖調節**
 ○伊左治 知弥¹、任 翔壘¹、亀山 昭彦²、福田 友彦¹、顧 建国¹
 (1東北医科薬科・分生膜研、²産総研・生命工)

セッション 「糖鎖異常と病態」 16:05-17:30

座長：渡辺 秀人 (愛知医科大学)、武内 恒成 (愛知医科大学)

- 16:05 **3A-15 (B)** **コンドロイチン硫酸の生合成を担う CSGALNACT1 の変異は骨異形成症
 を発症する**
 ○水本 秀二^{1,2}、Andreas R. Janecke³、Azita Sadeghpour⁴、
 Gundula Povysil⁵、Marie T. McDonald⁵、Sheila Unger⁶、
 Susanne Greber-Platzer⁷、Nicholas Katsanis⁴、Andrea Superti-Furga⁶、
 菅原 一幸¹、Erica E. Davis⁴、山田 修平¹、Julia Vodopituz⁷

(¹名城大・薬、²Univ. Otago, New Zealand、³Med. Univ. Innsbruck, Austria、⁴Duke Univ. Med. Ctr., USA.、⁵Johannes Kepler Univ, Austria、⁶Univ. Lausanne, Switzerland、⁷Med. Univ. Vienna, Austria)

- 16:20 **3A-16 (A)** **コンドロイチン硫酸合成酵素 KO マウスの皮膚と顎顔面異常とコラーゲン発現形成異常**
依田 浩子⁴、笹倉 寛之¹、川上 良介²、今村 健志²、柴田 俊一³、大島 勇人⁴、○武内 恒成¹ (¹愛知医大・医生物、²愛媛大・医分子病態、³東医歯大・院医歯顎顔面解剖、⁴新潟大・院医歯硬組織形態)
- 16:45 **3A-17 (B)** **肝硬変におけるビトロネクチンの糖鎖変化とコラーゲン結合性・線維形成への影響**
○伊達 公恵¹、鈴木 理沙²、辻岳 美央²、玉井 幸恵³、小川 温子^{1,2} (¹お茶大・ヒューマンライフイノベーション研究所、²院・人間文化創成科学研究科、³聖マリアンナ医科大学・生化学教室)
- 17:00 **3A-18 (B)** **NGLY1 欠損症患者に由来する NGLY1 変異型タンパク質の酵素学的諸性質について**
○平山 弘人、立田 由里子、鈴木 匡 (理化学研究所 開拓研究本部、鈴木糖鎖代謝生化学研究室、T-CiRA 共同プログラム鈴木プロジェクト)
- 17:15 **3A-19 (B)** **Effect of N-glycan on ER localized O-GlcNAc transferase (EOGT) and O-GlcNAcylation on Notch1 extracellular domains**
○Sayad Md. Didarul Alam, Mitsutaka Ogawa, Yuko Tashima, Hideyuki Takeuchi, Tetsuya Okajima (Nagoya University Graduate School of Medicine)

口頭発表 8月21日 B会場

セッション 「糖鎖とがん制御」 9:00-10:30

座長：門松 健治 (名古屋大学)、古川 圭子 (中部大学)

- 9:00 **3B-01 (A)** **sTn 抗原合成阻害剤による calpain を介した即時的がん浸潤抑制メカニズムの解明**
○福嶋 昌俊¹、前田 賢人¹、大坪 和明^{1,2} (¹熊本大学大学院保健学教育部保健学専攻、²熊本大学大学院生命科学部先端生命医療科学部門)
- 9:25 **3B-02 (B)** **糖鎖変化により増加した細胞表面 CD63 はメラノーマ細胞の BRAF 阻害剤耐性を減弱させる**
工藤 光野、○米田 敦子、崎山 大輝、小島 魁、宮地 建樹、深見 希代子 (東薬大・生命科学・ゲノム病態医科学)
- 9:40 **3B-03 (A)** **ガレクチン-3 を起点とする腫瘍悪性化**
○中田 博、森 勇伍、岩本 駿吾、尾島 和樹、山下 智子、秋田 薫 (京都産業大学、生命科学)

- 10:05 **3B-04 (A)** ヒアルロン酸産生はヘキソサミン合成経路を介してがん幹細胞性を制御する
小林 孝¹、Chatchadawalai Chokchaitaweek¹、泉川 友美²、
○板野 直樹¹ (1京産大・生命科学、²立命館大・薬)

セッション 「糖鎖と診断・治療」 10:35-12:00

座長：杉浦 信夫 (愛知医科大学)、井原 義人 (和歌山県立医科大学)

- 10:35 **3B-05 (A)** 新規に作製した抗 Tn キメラ抗体は様々な癌の診断マーカーとして有用である
○松本 康之¹、ド ッタ スチャリタ¹、ジ ョーンズ マーク¹、スタックハウス キャサリン¹、
セブ ニ ガブリエル¹、ハインバーク ジェイミー¹、ジュー トソツ²、カミングス リチャード¹
(¹ベスイスラエルディーコネスメディカルセ/ハーバード医科大、
一般外科、²エモリー大、医、生化学)
- 11:00 **3B-06 (B)** C-Man-Trp による卵巣腫瘍診断の可能性
○井原 義人¹、岩橋 尚幸²、井内 陽子¹、南方 志帆¹、櫻井 翔¹、
眞鍋 史乃³、伊藤 幸成³、井篁 一彦² (1和歌山県医大・医・生化、
²和歌山県医大・医・産婦科、³理研)
- 11:15 **3B-07 (B)** 低分子化合物スクリーニングによるがんの TRAIL 治療効果を増強する化合物の探索
○高松 真二^{1,2}、森脇 健太²、大野 祐梨¹、福岡 智哉¹、平石 綾香¹、
原田 彰宏²、三善 英知¹ (1阪大院・医・分子生化学、²阪大院・医・
細胞生物学)
- 11:30 **3B-08 (B)** 抗マラリア・ナノ粒子製剤をめざしたコンドロイチン硫酸-リポソームの調製
○杉浦 信夫¹、土本 純¹、塩入 達政¹、Tobias Gustavsson²、
Ali Salanti²、石原 雅之³、渡辺 秀人¹ (1愛知医大・分医研、
²コペンハーゲン大・医学寄生虫セ、³防衛医大・研セ)
- 11:45 **3B-09 (B)** 組換えカイコ絹糸腺で高発現するヒトリソソーム酵素の N 型糖鎖改変と医薬応用
○伊藤 孝司^{1,6,7}、西岡 宗一郎^{1,6}、篠田 知果²、竹内 美絵²、
福士 友理¹、月本 準¹、辻 大輔¹、小林 功^{3,6}、炭谷 めぐみ^{3,6}、
飯塚 哲也^{3,6}、木下 崇司⁴、三谷 藍⁴、堂崎 雅仁⁴、須田 稔⁴、
松崎 祐二⁵、飯野 健太⁵、瀬筒 秀樹^{3,6} (1徳島大院薬、²徳島大薬、
³農研機構、⁴伏見製薬所(株)、⁵東京化成工業(株)、⁶SERIREVO、
⁷水谷糖質科学財団助成)

セッション 「分析法・合成 2」 14:30-15:55

座長：野上 敏材 (鳥取大学)、岡本 亮 (大阪大学)

- 14:30 **3B-10 (B)** 糖のイミン形成能の新規な評価系の構築と本法による各種アルドヘキソース等およびグルコースからなる二糖のイミン形成能の評価
小澤 優里香¹、加藤 紘一^{1,4}、三浦 信明²、千葉 拓¹、古川 潤一³、○篠原 康郎¹ (1 金城学院大薬、²新潟大院医歯、³北大院医、⁴名城大薬)
- 14:45 **3B-11 (B)** 有機ボロン酸の複合体を利用した質量分析による糖異性体分析法の開発
○黒河内 政樹¹、松田 昭生¹、水野 真盛¹ (1(公財)野口研究所)
- 15:00 **3B-12 (A)** 大腸菌膜タンパク質膜挿入に必須な糖脂質 MPlase 類縁体の合成
○藤川 紘樹¹、鈴木 苑実²、池田 汐里²、森 祥子¹、野村 薫¹、西山 賢一²、島本 啓子¹ (1 (公財)サントリー生命科学研究財団・生物有機科学研究所、²岩手大・農)
- 15:25 **3B-13 (B)** O-マンノシルグリカンの部分構造, Xyl-RboP-Rbo の合成
○田村 敬裕、田村 純一 (鳥取大院・連大農)
- 15:40 **3B-14 (B)** 還元的クロスカップリング反応による C-グリコシド誘導体の合成研究
○小野 俊介¹、長門石 正孝¹、臼井 一晃^{1,2}、寄立 麻琴¹、平井 剛¹ (1 九大・院薬、²昭和薬大)

セッション 「合成 3」 15:55-17:30

座長：佐々木 要 (東邦大学)、花島 慎也 (大阪大学)

- 15:55 **3B-15 (A)** 非昇温型マイクロ波照射システムを利用した糖ペプチド合成研究
○清水 弘樹¹、横江 貴之¹、長島 生¹、大木 裕太²、高橋 直之² (1 産総研・生物プロセス、²東京理化工器(株))
- 16:20 **3B-16 (B)** 環状オリゴグルコサミンの電解合成
○野上 敏材^{1,2}、山本 崇史¹、スジットマンモデ¹、田部 七大¹、伊藤 敏幸^{1,2} (1 鳥取大院持続性社会創生科、²鳥取大工 GSC センター)
- 16:35 **3B-17 (B)** GlcNAc を含む糖鎖の効率合成を可能とするジアセチルストラテジーの開発
○筒井 正斗¹、真鍋 良幸^{1,2}、Julinton Sianturi¹、増井 誠二¹、深瀬 浩一^{1,2} (1 阪大院理、²阪大院理 PRC)
- 16:50 **3B-18 (B)** 糖鎖合成への応用を指向した溶解性向上のための保護基の有用性検証
○浅野 早知^{1,2}、田中 秀則^{2,3}、今村 彰宏^{1,2}、石田 秀治^{1,2,3}、安藤 弘宗^{2,3} (1 岐阜大・応用生物、²岐阜大院・連合農学、³岐阜大・生命の鎖統合研究センター)
- 17:05 **3B-19 (A)** 二環性シアル酸を用いた α グリコシド化反応の開発
○河村 奈緒子¹、加藤 慶一²、宇田川 太郎³、浅野 早知²、田中 秀則¹、今村 彰宏²、石田 秀治^{1,2}、木曾 真^{2,4}、安藤 弘宗¹ (1 岐阜大・G-CHAIN、²岐阜大・応用生物、³岐阜大・工、⁴京都大・iCeMS)

セッション 「レクチンと細胞制御」 10:35-12:00

座長：西島 謙一 (名古屋大学)、佐藤 ちひろ (名古屋大学)

- 10:35 3C-01 (A) 進化ポテンシャル法による LacDiNAc 結合性レクチンの創出
中須 麻子¹、馳平 加代¹、清井 佳代¹、岸根 尚美²、佐藤 隆¹、
藤本 瑞²、○館野 浩章^{1,3}
(¹産総研・創薬基盤、²農研機構・高度解析セ、³JST さきがけ)
- 11:00 3C-02 (B) ピーナッツレクチン結合性糖鎖による B 細胞抗原受容体シグナル伝達の
制御
○浅野 光¹、濱野 久美子²、岡 昌吾¹、内藤 裕子^{1,3}、竹松 弘^{1,2,3}
(¹京大院・医・人間健康、²京大院・生命、³藤田医大院・保健薬大・
生命科学・ゲノム病態医科学)
- 11:15 3C-03 (B) 膵臓 β 細胞におけるガレクチンラティスの崩壊はアルギニン取り込みを
障害する
○前田 賢人¹、田崎 雅義^{2,3}、安東 由喜雄⁴、大坪 和明^{1,5}
(¹熊大院・保健学教育・生体情報解析学、²熊大院・生命科学・
構造機能解析学、³熊大院・生命科学・脳神経内科学、⁴長国大・薬学・
アミロイドーシス病態解析学、⁵熊大院・生命科学・生体情報解析学)
- 11:30 3B-04 (B) シアル酸結合レクチン Siglec7 のガングリオシド GD3 認識に対する
セラミド構造の影響
○橋本 登^{1,2}、伊藤 静香²、土田 明子²、Robiul H. Buiyan^{2,3}、
岡島 徹也²、山本 朗仁¹、古川 圭子³、大海 雄介³、古川 鋼一^{2,3}
(¹徳大院・歯・組織再生、²名大院・医・2 生化、³中部大・生命健康)
- 11:45 3B-05 (B) イネ LysM 受容体 OsCERK1 を介する LPS 防御応答
○賀来 華江¹、出崎 能丈^{1,2}、香西 雄介³、南 栄一⁴、渋谷 直人¹、
西澤 洋子⁴(¹明治大・農、²(現) 東京理科大・生物工、³理研・
環境資源科学研究セ、⁴農研機構・生物機能)

セッション 「免疫・生体防御」 14:30-16:00

座長：上村 和秀 (中部大学)、竹松 弘 (藤田医科大学)

- 14:30 3C-06 (B) セレノグルタチオン添加による細胞の糖化および酸化ストレス抵抗性の
向上
○金森 審子^{1,2}、高橋 沙和¹、大畠 早葵¹、熊坂 実優¹、下平 伸吾³、
岩岡 道夫^{2,3}(¹東海大・工・生命化学、²東海大・先進生命科学研究所、
³東海大・理・化学)

- 14:45 **3C-07 (B)** スフィンゴ糖脂質 CD77 による B 細胞抗原受容体シグナル伝達を制御機構の解析
○湯浅 大史^{1,3}、濱野 久美子²、関 亮祐²、岡 昌吾¹、内藤 裕子^{2,3}、竹松 弘^{1,2,3} (1京大院・医・人間健康、²京大院、生命、³藤田医大院・保健)
- 15:00 **3C-08 (B)** スフィンゴ糖脂質の糖鎖構造の制御による適応免疫の特異的誘導
○奥田 徹哉¹、狭場 諭²、木戸脇 佳代子²、伊達 睦廣²
(¹産業技術総合研究所・生物プロセス研究部門、²富士フイルム和光純薬株式会社・臨床検査薬研究所)
- 15:15 **3C-09 (B)** 肺炎球菌莢膜糖鎖に対する抗体の誘導
○築地 信、澁澤 晴美、林 美佑 (星薬科大学・薬学部・微生物学研究室)
- 15:30 **3C-10 (B)** $\beta 2$ アドレナリン受容体シグナルによるヒアルロン酸合成の上昇
○黒田 喜幸、中川 哲人、東 秀好 (東北医薬大・分生研・生体膜情報学)
- 15:45 **3C-11 (B)** 小脳顆粒細胞ガングリオシド GD3 と GD1b の特異的シグナル伝達の中継点としての機能
小松谷 啓介¹、井口 智弘¹、川島 育夫¹、小倉 潔¹、杉浦 信夫²、前田 信明³、霜田 靖⁴、○笠原 浩二¹ (1東京都医学研・細胞膜、²愛知医大・分子医科研、³東京都医学研・神経回路、⁴長岡技科大・生物機能工学)

ポスター発表 (掲示: 8月19日~21日)
奇数 8月20日、偶数 8月21日 13:00~14:20

- P-001** α -1-4-D-グルコピラノシド環状三・四量体の立体配座の決定
○若森 晋之介、松本 慎太郎、萩森 資、山田 英俊 (関西学院大・理工)
- P-002** *E.coli* O-抗原の RDF 化による生合成パスウェイデータの統合
○李 宣明¹、木下 聖子^{1,2} (¹創価大院・工学研究科、^{1,2}創価大学・糖鎖生命システム融合センター)
- P-003** 立体選択的 TMS 化反応と反応機構
○吉村 竜太郎¹、浅見 悠里¹、蟹江 善美²、蟹江 治^{1,3}
(¹東海大院・工、²東海大・技、³東海大・工)
- P-004** エステラーゼによる Ac 基除去反応の検討および糖ペプチド合成への応用
○吉村 弥生^{1,2}、長島 生³、横江 貴之³、清水 弘樹³、岸本 利光¹、千葉 靖典²
(¹バイオインダストリー協会、²産総研・創薬基盤、³産総研・生物プロセス)
- P-005** “クリック反応”と PNGase F 酵素を用いた糖鎖を有するペプチドの合成
○吉田 勇輝、藪野 利佳、稲津 敏行、苫米地 祐輔 (東海大・工・応用科学)
- P-006** 液相電解自動合成に基づく Myc-LCO 合成
○矢野 君晟¹、野上 敏材^{1,2}、伊藤 敏幸^{1,2}
(¹鳥取大学・持続性社会創生科、²鳥取大学・工・GSC センター)
- P-007** 固相法によるリーシュマニア原虫の糖衣糖-1 リン酸繰り返し構造の効率的合成
○村本 一将¹、萩尾 友哉¹、原 倫太郎²、佐藤 一樹¹、和田 猛¹
(¹東理大院・薬、²医科歯科院・医歯)
- P-008** マイクロ波照射法を用いた単糖のトリチル化反応
○村澤 駿、宇都宮 由貴、田村 裕、古池 哲也 (関大化学・生命工)
- P-009** プラディミシン A のアミド誘導体の合成と活性評価
○宮西 航¹、小鹿 一¹、五十嵐 康弘²、伊藤 幸成³、中川 優^{1,3}
(¹名大院・生命農、²富山県大・生工、³理研)
- P-010** グライコムクス質量分析データの解析支援ソフト TAG の有用性：
Npc1 KO や Tunicamycin 処理細胞の糖鎖発現変動に与える影響を例に
○三浦 信明¹、花松 久寿²、後藤 さく良³、横田 育子²、岡田 和恵²、
吉岡 弘毅³、古川 潤一²、篠原 康郎³
(¹新潟大院・医歯、²北大院・医、³金城学院大・薬)
- P-011** エンド開裂を経由する異性化反応における基質拡張
○眞鍋 史乃、伊藤 幸成 (理研)

- P-012 C型レクチン受容体 Mincle 糖脂質リガンドの合成**
○松丸 尊紀、大久保 花菜、櫻谷 香澄、末吉 耕大、藤井 秀輔、藤本 ゆかり (慶大・理工)
- P-013 立体選択的 α -L-ガラクトシル化を基盤とした α -L-フコシド合成法の開発**
松橋 拓也¹、○今村 彰宏¹、石田 秀治^{1,2}
(¹岐阜大・応用生物、²岐阜大・G-CHAIN)
- P-014 相乗的に受容体機能制御を行う TLR4/MD-2 リガンドの構造活性相関研究**
○松浦 良史¹、下山 敦史^{1,2}、深瀬 浩一^{1,2}
(¹阪大院・理、²阪大院・理付属 PRC)
- P-015 コンドロイチン硫酸の機能解明に向けたライブラリーの半合成研究**
○松井 翔太郎、古場 温美、満保 章泰、真木 勇太、岡本 亮、梶原 康宏 (阪大院・理)
- P-016 三分枝複合型糖鎖を持つエリスロポエチンの合成とその生理活性評価**
○真木 勇太^{1,2}、岡本 亮^{1,2}、和泉 雅之¹、梶原 康宏^{1,2}
(¹阪大院・理・化学、²阪大院・理・基礎理学プロジェクト研究センター)
- P-017 マクロファージ活性を有する糖ペプチドのコンホメーションの検討**
○本間 春城¹、蟹江 善美²、日向寺 祥子³、蟹江 治^{1,4}
(¹東海大・工、²東海大・技、³東海大・情報、⁴東海大院・工)
- P-018 糖鎖アレイ実験データを解析した結果の MCAW-DB データベース構築**
○細田 正恵^{1,3}、高橋 悠志²、塩田 正明³、新町 大輔⁴、天笠 英治郎³、木下 聖子^{1,2,3} (¹創価大・理工・糖鎖生命システム融合センター、²創価大院・工、³創価大・理工、⁴SparqLite LLC.)
- P-019 細胞表面カルレティキュリンに対する蛍光型標識化合物の合成研究**
○北條 真琴、柴山 佳大、栗原 大輝、戸谷 希一郎 (成蹊大・理工)
- P-020 キラルカラムを用いたスフィンゴ糖脂質一斉分析系によるヒドロキシ脂肪酸分子種の解析**
○藤原 優子、濱 弘太郎、横山 和明 (帝京大・薬)
- P-021 LC-MS/MS を用いた食品原料中のコンドロイチン硫酸の定量分析法開発**
○平井 健吾、吉岡 俊暁、宮本 靖久、永富 康司、鈴木 康司
(アサヒ・クオリティー・アンド・イノベーションズ (株))
- P-022 ケラタン硫酸二糖ユニットに関する合成研究**
○林 志帆、林 昂史、吉田 龍幸、若尾 雅広、隅田 泰生 (鹿児島大院・理工)
- P-023 Fc-融合糖タンパク質医薬品の意図しない O-結合型糖鎖修飾**
○橋井 則貴¹、鈴木 淳也¹、花松 久寿²、古川 潤一²、石井 明子¹
(¹国立衛研、²北海道大学大学院)
- P-024 アミノチオアシッドを用いた新規糖タンパク質合成法の開発**
○野村 幸汰、真木 勇太、岡本 亮、梶原 康宏 (阪大・理)

- P-025** 二種類の糖鎖を介して糖タンパク質に結合する抗体の糖鎖認識に関する理論的研究
○能登 香 (北里大学・一般教育部)
- P-026** **ENGase** 阻害剤開発を志向した非天然型 N-グリカンコア 3 糖の合成研究
○楡木 淳平、河津 崇、旅川 広大、栗原 大輝、戸谷 希一郎 (成蹊大・理工)
- P-027** 合成三糖類を用いた小胞体 α -1,2-マンノシダーゼ類の糖鎖特異性解析
○新田 恭平、栗原 大輝、戸谷 希一郎 (成蹊大・理工)
- P-028** **PNGase F** マイクロバイオリアクターを用いた糖鎖調製の最適化
○西村 知晃、藪野 利佳、稲津 敏行、苫米地 祐輔 (東海大・工・応用科学)
- P-029** 化学修飾を用いたラベル化糖鎖のシアル酸結合様式識別
○西風 隆司、関谷 禎規、岩本 慎一、田中 耕一
(島津製作所・田中耕一記念質量分析研究所)
- P-030** 糖鎖クラスター型シクロデキストリン超分子の調製
○中山 裕晶、田村 裕、古池 哲也 (関大・化学生命工)
- P-031** コアフコシル N-グリカンに作用する **ENGase** 探索のための **FRET** 型基質の合成
○永田 光穂¹、石井 希実¹、佐野 加苗¹、飯野 健太²、松崎 祐二²、西川 宜秀²、加藤 紀彦³、山本 憲二⁴、松尾 一郎¹(¹群馬大院・理工、²東京化成工業株式会社、³京大院・生命科学、⁴石川県立大・生物資源工学研究所)
- P-032** 親水性相互作用クロマトグラフィーとポストカラム検出による生体内シアル酸の微量分析
○豊田 英尚、永井 祐子、榊原 伊織、小松原 侑夏、泉川 友美、豊田 亜希子 (立命館大・薬)
- P-033** 糖鎖合成での単離精製を簡便化する極性差増幅法の開発
土屋 優大¹、○田中 秀則^{2,3}、今村 彰宏^{1,2}、石田 秀治^{1,2,3}、安藤 弘宗^{2,3}
(¹岐阜大・応用生物、²岐阜大院・連合農学、³岐阜大・G-CHAIN)
- P-034** **X- α** -ガラクトシドの簡便合成法の開発
○富田 紘隆¹、長田 朔人¹、岩井 遥²、今村 彰宏^{1,2}、石田 秀治^{1,2,3}
(¹岐阜大院・自然科学技術、²岐阜大院・連合農学、³岐阜大・G-CHAIN)
- P-035** **WURCS** 形式を標準化するための変換ツール **GlycanFormatConverter**
○土屋 伸一郎¹、山田 一作²、木下 聖子^{1,3} (¹創価大院工、²(公財)野口研・糖鎖有機、³創価大・理・糖鎖生命システム融合センター)
- P-036** 複合型糖鎖担持高分子の水中合成とリガンド結合性評価
○辻 爽太郎、田中 知成 (京工織大院・工芸)
- P-037** グリコシルインターフェロン β の精密半化学合成
○張 育齊、チャイトラ チャンドラシェーカー、趙 冬林、真木 勇太、岡本 亮、梶原 康宏 (阪大院・理)

- P-038 髄膜炎菌由来糖鎖の固相合成**
 ○千葉 明咲¹、小川 裕貴²、白石 ともみ²、野呂 美穂子³、原 倫太郎^{2,4}、佐藤 一樹²、和田 猛²
 (1東理大・薬、2東理大院・薬、3東大院・新領域、4医科歯科院・医歯)
- P-039 直交性保護基を用いた複数ヶ所に糖鎖を有する糖ペプチドの化学酵素合成法の開発**
 ○田中 智博、大隅 賢二、高島 晶、松田 昭生、水野 真盛
 (公益財団法人野口研究所)
- P-040 4-O-アシル-2,6-ラクトン糖供与体の β-立体選択性発現機構**
 ○瀧澤 柚花、酒井 宏晃、佐々木 要 (東邦大・理)
- P-041 スペルミジンおよびプトレシン型 AGEs のモデル体合成と細胞に対する挙動**
 ○高見澤 美結¹、森下 雄太²、藤本 崇³、藤田 智之^{1,2}、筒井 歩^{1,2}
 (1信州大院・総合理工農、2信州大・農、3明星大・理工)
- P-042 ラクト系スフィンゴ糖脂質の 1 分子観察用プローブの合成**
 ○高橋 舞菜¹、河村 奈緒子²、田中 秀則²、今村 彰宏¹、石田 秀治^{1,2}、安藤 弘宗² (1岐阜大・応用生物、2岐阜大・G-CHAIN)
- P-043 細菌由来ジアシルグリセロ糖脂質の合成**
 ○高登 公一¹、今村 彰宏¹、石田 秀治^{1,2}
 (1岐阜大院・自然科学技術、2岐阜大・G-CHAIN)
- P-044 8 つの糖残基を有するゴシポール誘導体の合成**
 ○関口 菜樹¹、天野 善継¹、矢野 友啓²、長谷川 輝明^{3,4}
 (1東洋大院・生命、2東洋大・食環、3東洋大・生命、4東洋大・バイオナノ)
- P-045 チオエーテル基を用いた 1,2-cis 選択的グリコシル化の反応機構の解明と糖鎖合成への応用**
 ○須田 栞¹、前川 丈武¹、西田 芳弘^{1,2}、土肥 博史^{1,2}
 (1千葉大院・園芸、2千葉大・分子キラリティー研究センター)
- P-046 多分枝 N-結合同型糖鎖の網羅的合成を目指した多様性指向型ルートの検討**
 ○白川 明日香¹、真鍋 良幸^{1,2}、出村 健太¹、増井 誠二¹、深瀬 浩一^{1,2}
 (1阪大院・理、2基礎理学プロジェクトセンター)
- P-047 密閉容器型リアクターを用いた GaIn₃ 誘導体の硫酸化条件検討**
 ○清水 風月¹、柳澤 圭哉¹、高橋 沙耶¹、Hor Seanghai¹、左 一八²、山中 隆史³、中野 博文¹
 (1愛知教育大学、2会津大学・短期大学部、3JRA 競走馬総合研究所)
- P-048 イズロン酸含有ヘパラン硫酸部分二糖構造に関する合成研究**
 ○鮫島 健介、長友 琴愛、市吉 賢太、若尾 雅広、隅田 泰生
 (鹿児島大院・理工)

- P-049** **1,3-アンヒドログルコース誘導体の開環重合による合成多糖の抗腫瘍活性**
○佐藤 真也、畠中 康生、山口 沙穂、中村 友香、堤内 要
(中部大・応用生物)
- P-050** **2,6-ラクトンを用いたグリコシル化反応の糖受容体依存性**
○酒井 宏晃、瀧澤 柚花、東田 和樹、齋藤 政司、橋本 悠介、佐々木 要
(東邦大・理)
- P-051** **UDP-[U-¹³C]-Glucose を利用した糖タンパク質品質管理機構の追跡**
○齋藤 泉¹、大谷 結子¹、向川 友紀¹、山内 美紀¹、和泉 雅之²、
真木 勇太¹、岡本 亮¹、伊藤 幸成³、梶原 康宏¹
(¹大阪大院・理、²高知大学・理工、³理研・細胞制御化学)
- P-052** **細胞間コミュニケーション阻害を引き起こすゴルジ体マンノシダーゼ
阻害剤の開発**
○小山 亮祐、加納 結衣、袴田 航、平野 貴子、西尾 俊幸
(日大院・生資科生資利用)
- P-053** **GalNAc4S-6ST 阻害剤ライブラリーの構築を目的とした合成経路の確立**
○後藤 優太¹、Hor Seanghai¹、土本 純²、杉浦 信夫²、渡辺 秀人²、
羽淵 脩躬^{1,2}、左 一八³、中野 博文¹
(¹愛知教育大学、²愛知医科大学、³会津大学・短期大学部)
- P-054** **ENGase の転移活性を利用したタンパク質の位置選択的な PEG 化法の開発**
○後藤 浩太郎、朝倉 大堯、高島 晶、田中 智博、黒河内 政樹、森 昌子、
松田 昭生、水野 真盛 (公益財団法人野口研究所)
- P-055** **糖鎖誘導体を用いた ENGase 阻害剤の開発について**
○木下 崇司、三谷 藍、住吉 渉 ((株)伏見製薬所)
- P-056** **シリルアシスト型 1,2-cis- α -グルコシド形成反応のメカニズム解析**
○川野辺 悠一、倉垣 尚弥、栗原 大輝、戸谷 希一郎 (成蹊大・理工)
- P-057** **asialo-GM1 に特異的に結合する二枚貝由来レクチン SeviL の構造解析**
○鎌田 健一¹、高橋 捷也¹、水谷 健二¹、藤井 佑樹³、藤田 英明³、
小沼 剛¹、池上 貴久¹、大関 泰裕²、ジェレミー・ティム¹
(¹横浜市大院・生命医科学、²横浜市大院・生命ナノ、³長崎国際大・薬)
- P-058** **Lyso-phosphatidyl- β -D-Glucoside の効率的な合成経路の開発**
○狩野 航輝¹、Peter Greimel²、松尾 一郎¹
(¹群馬大院・理工、²理化学研究所・CBS)
- P-059** **マボヤ及びアカボヤ由来糖脂質の合成研究 (3)**
○金谷 貴行¹、関 里紗¹、栗原 正明^{1,2}、羽田 紀康³
(¹国際医福大・薬、²国立衛研、³東京理大・薬)
- P-060** **環状 β グルカン 13 糖前駆体の液相電解自動合成**
○加藤 萌子¹、野上 敏材^{1,2}、伊藤 敏幸^{1,2}
(¹鳥取大院・持続性社会創生科、²鳥取大・工・GSC センター)

- P-061** **FAC の謎「レクチンとの弱い結合力を極微量の糖鎖で測定できるのはなぜか」への解答**
○笠井 献一 (帝京大)
- P-062** ***Haemophilus influenzae* LPS の内部コア 3 糖の合成**
○尾川 周平¹、大谷 直輝¹、織田 健成^{1,2}、一柳 剛²
(¹鳥大院・持続性社会創生科学、²鳥大・農)
- P-063** **ピラゾロン共存化 β 脱離反応による O-結合型糖鎖結合部位の解析法**
○岡田 和恵¹、花松 久寿¹、吉村 弥生^{2,3}、黒河内 政樹⁴、鈴木 淳也⁵、千葉 靖典²、橋井 則貴⁵、石井 明子⁵、古川 潤一¹
(¹北大院・医、²産総研・創薬基盤、³バイオインダストリー協会、⁴(公財) 野口研、⁵国立衛研)
- P-064** **ストレプトマイセス属細菌由来 α -リボフラノシドの合成研究**
○岡 夏央^{1,2}、神藤 優花¹、十市 優斗¹、安藤 香織¹
(¹岐阜大・工、²岐阜大・G-CHAIN)
- P-065** **α -ホルミルフェニルチオグリコシドを用いた実践的糖鎖合成法の開発**
○大野 勇次¹、小室 晴香¹、西田 芳弘^{1,2}、土肥 博史^{1,2}
(¹千葉大院・園芸、²千葉大・分子キラリティー研究センター)
- P-066** **新規オピオルフィン類縁体の設計と合成**
○大月 恵美¹、八須 匡和¹、長島 生²、清水 弘樹²、堀戸 重臣¹
(¹東理大・生物工、²産総研・生物プロセス)
- P-067** ***Neisseria* 属 LOS の 3,4-分岐ヘプトース構造を含む中性コア 5 糖の合成**
○大谷 直輝¹、尾川 周平¹、後久保 春花²、一柳 剛^{1,2}
(¹鳥大院・持続性社会創生科学、²鳥大・農)
- P-068** **バイオ医薬品のグリコサミノグリカン型 O-グリカンの解析方法に関する研究**
○太田 里子、齋藤 恵、森脇 有加、水野 保子 (東レ・リサーチセンター)
- P-069** **グルコシルセラミドフリッパーゼを捕捉する分子デコイの開発**
内山 賢人、伊藤 沙也香、○八須 匡和、高田 直輝、瀬木(西田) 恵里、堀戸 重臣 (東理大・生物工)
- P-070** **高マンノース型糖鎖のワンポット合成を志向した樹状型グリコシル化法の開発**
○碓井 瑠智雄、新田 恭平、小泉 亮、栗原 大輝、戸谷 希一郎
(成蹊大・理工)
- P-071** **Allyl 系保護基を用いたスフィンゴ糖脂質 GlcCer 類の合成**
○上木 一成、竝河 悦子、岸 惇一郎、松丸 尊紀、藤本 ゆかり (慶大・理工)
- P-072** **糖ペプチド合成のためのシアル酸カルボキシ基保護基の検討**
伊藤 駿、○朝比奈 雄也、北條 裕信 (阪大・蛋白研)

- P-073** 光感受性官能基を持つ新規N結合型糖ペプチドの合成研究
○石原 薫、岡 彩恵、真木 勇太、岡本 亮、梶原 康宏 (阪大院・理)
- P-074** ストレプトゾトシンの構造を基にした GLUT2 標的分子イメージング
プローブの開発
○有光 健治¹、屋木 祐亮^{1,3}、越野 一博²、樋口 隆弘³、安井 裕之¹、
木村 寛之¹ (¹京都薬大、²道情報大、³ビュルツブルグ大)
- P-075** 糸状菌中性スフィンゴ糖脂質生合成解析に向けた 2'-ヒドロキシセラミド
アナログの合成
○荒木 璃子、菊間 隆志、武田 陽一 (立命館大院・生命科学)
- P-076** 蛍光糖脂質プローブ lactosyl ceramide BODIPY を用いた細胞内の
糖鎖変換と膜流動性評価
新井 健太¹、○蟹江 善美²、大竹 敦子³、大黒 周作³、二井野 菜々⁴、
高祖 正成⁴、伊藤 幸成³、樺山 一哉¹、深瀬 浩一¹、蟹江 治⁴
(¹阪大院・理、²東海大・技、³理研、⁴東海大・工)
- P-077** GPR55 の構造活性相関研究を指向したスクアリル基を有する LPG 類縁体
の合成
○阿部 純平¹、Feiqing Ding¹、Adam T. Guy²、Peter Greimel²、平林 義雄¹、
上口 裕之²、伊藤 幸成¹ (¹理研・CPR、²理研・CBS)
- P-078** 糖鎖合成シミュレーション解析のためのウェブツール「GlycoSim」の開発
○赤瀬 幸子¹、木全 侑輝¹、木下 聖子^{2,3}
(¹創価大院・工・生命、²創価大・理工、³創価大・糖鎖生命システム融合セ)
- P-079** Lactosylceramide-organized galactose modification of
glycosylphosphatidylinositol by beta-1,3-galactosyltransferase 4
○王 宜成、平田 哲也、柳 芸石、村上 良子、前田 裕輔、木下 タロウ
(阪大・微生物病研究所)
- P-080** 病原性真菌 *Cryptococcus neoformans* の GlcCer の品質管理の生理的意義
○渡辺 昂¹、岩崎 未央²、石橋 洋平¹、沖野 望¹、伊東 信¹
(¹九大院・農・生命機能、²九大院・生資環・生命機能)
- P-081** A novel virulence factor: NanA sialidase and significance of the sialic
acid metabolism in *Edwardsiella tarda* infection
○Vo Khanh Linh¹、都築 利治²、鎌田 (二神) 裕子²、大石 一樹¹、
佐橋 大地²、小松 正治^{1,2}、塩崎 一弘^{1,2}
(¹鹿児島大・連合農学・応用生命、²鹿児島大・水産・食品生命)
- P-082** C型糖修飾による Isthmin-1 への影響
○吉本 哲¹、片山 和光¹、鈴木 健裕²、三浦 一輝¹、堂前 直²、
清水 史郎¹ (¹慶大・応化、²理研・CSRS)
- P-083** シアル酸含有合成ポリマーによる Siglec-7 のリガンド認識機構の評価
○吉村 淳^{1,2}、朝比奈 佑希^{1,2}、田中 浩士³、北島 健^{1,2}、佐藤 ちひろ^{1,2}
(¹名大・生物機能セ、²名大院・生命農学、³東工大院・物質理工)

- P-084 脳のグルタミン酸作動性神経特異的 EXTL3 欠損マウスの解析**
 ○山田 夏実¹、水本 秀二¹、衣斐 大祐²、菅原 明³、山田 修平¹
 (1名城大・薬・病態生化学、2名城大・薬・薬品作用学、3東北大院・医)
- P-085 ヒト血清中マイナー酸性糖鎖の網羅的解析**
 ○山田 佳太、鈴木 光司、廣畑 好彦 (大阪大谷大学・薬)
- P-086 Unique function of ganglioside GD2 in malignant melanomas**
 ○Farhana Yesmin^{1,2}、Robiul Hasan Bhuiyan²、Yuhsuke Ohmi¹、
 Tetsuya Okajima¹、Keiko Furukawa²、Koichi Furukawa^{1,2}
 (1名大院・医、2中部大・生命健康)
- P-087 FGL1 のグルコシルガラクトシルヒドロキシ化が機能に及ぼす影響**
 ○森 研人¹、鈴木 健裕²、三浦 一輝¹、堂前 直²、清水 史郎¹
 (1慶大・応化、2理研・CSRS)
- P-088 SDS-PAGE/Native-PAGE Map 法を用いた脳発達における polySia-NCAM の解析**
 ○森 愛理、楊 溢、羽根 正弥、北島 健、佐藤 ちひろ
 (名大・生物機能セ、名大院・生命農学)
- P-089 次世代型糖鎖抗体を使った画期的な炎症性腸疾患バイオマーカーの開発**
 ○本岡 湊¹、森下 康一¹、伊藤 菜美¹、高松 真二¹、新崎 信一郎²、
 鎌田 佳宏¹、竹原 徹郎²、三善 英知¹
 (1阪大院・医・機能診断科学、2消化器内科学)
- P-090 免疫細胞 (T 細胞) 特異的 EXTL3 欠損マウスの解析**
 ○三宅 晃代¹、水本 秀二¹、山下 匡²、菅原 明³、山田 修平¹
 (1名城大学薬、2麻布大獣医、3東北大院医)
- P-091 自然免疫を担うマンナン結合タンパク質のムンプスウイルス感染抑制作用**
 ○宮木 遥¹、杉山 巧¹、平松 宏明¹、鈴木 康夫¹、川崎 敏祐²、
 上村 和秀¹ (1中部大生命健康、2立命館大糖鎖工学センター)
- P-092 酪農家畜の初乳における糖ヌクレオチドおよび糖-1-リン酸の分析**
 ○峯口 祐里¹、後藤 京介¹、首藤 悠那¹、柏木 啓利¹、北澤 春樹²、
 朝隈 貞樹³、福田 健二¹、浦島 匡¹
 (1帯広畜産大学、2東北大・農、3農研機構・北農研)
- P-093 C-マンノシル-トリプトファン産生はオートファジー経路により調節される**
 ○南方 志帆¹、井内 陽子¹、西辻 和親¹、櫻井 翔¹、眞鍋 史乃²、
 伊藤 幸成²、井原 義人¹ (1和歌山県立医大・医生化、2理研)
- P-094 Endo-SB,Endo-CoM 変異型における糖転移活性の基質特異性について**
 ○三谷 藍¹、住吉 渉¹、木下 崇司¹、竹川 薫²
 (1(株) 伏見製薬所、2九大院・農)

- P-095** 老化脳に蓄積する希少シアル酸分子種がアルツハイマー病に与える影響
○三上 靖代¹、南 彰¹、大坪 忠宗²、紅林 佑希¹、高橋 忠伸¹、池田 潔²、鈴木 隆¹ (1 静岡県大・薬、² 広島国際大・薬)
- P-096** マクロファージにおけるコアフコースの生物学的重要性
○松野 衣里子、中山 小太郎純友、藤井 宏修、若松 可奈、新崎 信一郎、高松 真二、鎌田 佳宏、三善 英知 (阪大院・医・機能診断科学)
- P-097** サポシン D 変異マウスの神経病態解析
○松田 純子、渡邊 悦子、郷 慎司 (川崎医科大・病態代謝学)
- P-098** ヒト Tay-Sachs 病神経細胞モデルの構築と GM2 ガングリオシドの細胞内局在解析
○眞継 毅¹、辻 大輔^{1,2}、中江 隆豊²、寺本 日路美²、井澤 大貴¹、山本 圭³、伊藤 孝司^{1,2}
(¹ 徳島大院・薬科学教育部、² 徳島大・薬、³ 徳島大院・社会産業理工)
- P-099** コアフコースを認識するレクチン PhoSL が B 型肝炎ウイルス感染を抑制するメカニズムの解析
○前田 芽久美^{1,2}、赤松 佑香^{1,2}、前田 晴香¹、下村 真由香¹、高松 真二¹、鎌田 佳宏¹、上田 啓次²、三善 英知¹
(¹ 阪大院・医・機能診断科学、² ウイルス学)
- P-100** 発芽前後のコムギ種子胚部における N 結合型糖鎖の比較構造解析
○堀内 里紗、宮西 伸光 (東洋大・食環境科学)
- P-101** 筋組織修復過程におけるコンドロイチン硫酸合成・分解関連酵素の発現とその機能
○保坂 善真^{1,2,3}、鷲江 壮太¹、ラッタナトライ チャイヤシン²、割田 克彦^{1,2,3}
(¹ 鳥取大・農・獣医解剖、² 山口大院・連合獣医、³ 鳥取大院・共同獣医)
- P-102** メダカ初期発生における囲卵腔局在シアロ糖タンパク質 hyosoporphin の量的変動と重要性
○傳 博、佐藤 ちひろ、北島 健 (名大・生物機能セ、名大院・生命農学)
- P-103** 糸球体上皮細胞の Core 1 型 O-結合型糖鎖は、血液濾過に重要である
○布施谷 清香^{1,2}、鈴木 陸^{1,3}、岡田 理沙¹、臼井 俊明⁴、森戸 直記⁴、萩原 梢⁵、佐藤 隆⁵、成松 久⁵、高橋 智¹、工藤 崇¹
(¹ 筑波大・解剖発生、⁴ 腎内、筑波大院・² 人間総合、³ ヒューマンバイオ、⁵ 産総研・創薬基盤糖鎖技術)
- P-104** 演題取消
- P-105** α 1,6 フコシルトランスフェラーゼ (Fut8) 欠損によるグリア細胞の活性化
○福田 友彦、庄子 隼人、陸 需、張 冬梅、伊左治 知弥、顧 建国
(東北医科薬科大・分生研細胞制御学)

- P-106** 臍トリプシン・トリプシノーゲンに見出したグリコサミノグリカン結合性
○日比野 明日香¹、緒方 彩¹、和田 有沙¹、伊達 公恵²、藤間 祥子⁴、
舘野 浩章⁵、小川 温子^{2,3} (1お茶大院・人間文化創成科学、
²ヒューマンライフイノベーション研究所、³基幹研究院・自然科学系、
⁴奈良先端科学技術大院・先端科学技術、⁵産総研・創薬基盤研究部門)
- P-107** グリコサミノグリカンによるヘパラーゼの生物作用の抑制
○東 伸昭¹、前田 理乃¹、瀬底 央¹、磯野 桃子¹、石川 壮大¹、
谷 祐里菜¹、高橋勝彦¹、奥 輝明²、中島元夫³、入村達郎⁴
(¹星薬大・生化学、²同・微生物学、³SBI ファーマ、⁴順天堂大)
- P-108** 腫瘍マーカー候補としての遊離糖鎖の解析
○半澤 健、岡本 三紀、村上 博子、宮本 泰豪
(大阪国際がんセンター・研・分子生物)
- P-109** オリゴシアル酸転移酵素 (ST8SIA6) のがん形質発現機構の解明
○畑中 理菜、荒木 映莉乃、北島 健、佐藤 ちひろ
(名大・生物機能セ、名大院・生命農学)
- P-110** 患者由来臍がんゼノグラフトモデルの定量的糖鎖構造解析
馳平 加代¹、○浅田 眞弘¹、古田 智章²、下村 治²、小田 竜也²、
舘野 浩章¹ (¹産総研・創薬基盤、²筑波大・消化器外科)
- P-111** 慢性臍疾患病態に関与する腸球菌の糖鎖を用いた診断法
○野田 愛美香¹、糸山 幸来¹、深谷 莉沙子¹、前川 友裕¹、高松 真二¹、
鎌田 佳宏¹、江口 英利²、戸邊 亨³、三善 英知¹
(阪大院・医・¹機能診断科学、²消化器外科、³生体情報科学)
- P-112** 炎症制御を目指したシアル酸認識レクチン Siglec-F の機能解析
○西島 謙一¹、稲坂 唯¹、立山 博之¹、樋口 廣士¹、村瀬 佑介¹、
金岡 英徳¹、飯島 信司^{1,2} (¹名大院・工、²現愛工大・工)
- P-113** Caco-2 細胞の腸管モデルを用いたラクトフェリンとその誘導体の細胞内
取込みと放出評価
○中村 真男、松崎 巧実、野北 武秀、佐藤 淳
(東工大院・バイオ情報メディア)
- P-114** 血液凝固第 XII 因子の活性化における EGF 様ドメインの O-結合型糖鎖修飾
の役割
○中村 澄香¹、小川 光貴²、竹内 英之²、岡島 徹也²、有森 貴夫³、
高木 淳一³、相川 京子¹
(¹お茶大院・人間文化・理学、²名大院・医、³阪大・蛋白質研究所)
- P-115** ヒトがん細胞において MFAP4 は C 型糖修飾を受ける
○長田 祥征¹、鈴木 健裕²、三浦 一輝¹、堂前 直²、清水 史郎¹
(¹慶大・応化、²理研・CSRS)
- P-116** アオエリヤケイ卵に発現している糖鎖の構造解析
○中北 慎一、中北 ゆかり、平林 淳 (香川大・総合生命科学研究センター)

- P-117 ERp29 の連結によるレクチンシャペロン CNX のダイマー形成**
 ○中尾 仁美¹、瀬古 玲²、伊藤 幸成^{2,3}、迫野 昌文¹
 (¹富山大院・生命融合、²JST ERATO、³理研)
- P-118 視床下部背内側核に発現しているヘパラン硫酸 6-O-硫酸基転移酵素-2 の解析**
 ○永井 尚子¹、幡野 その子¹、杉浦 信夫¹、木全 弘治²、渡辺 秀人¹
 (¹愛知医大・分医研、²愛知医大・研究創出支援センター)
- P-119 FUT8 SH3 ドメインの機能解析**
 ○富田 晟太¹、平田 哲也²、長江 雅倫³、木塚 康彦^{1,2}
 (¹岐阜大・応用生物・糖鎖生化学研究室、²岐阜大・G-CHAIN、³東大院・薬)
- P-120 コンドロイチン硫酸を用いたマラリア原虫感染赤血球へのドラッグデリバリーシステムの開発**
 ○土本 純¹、塩入 達政¹、福重 香²、内藤 宗和²、石原 雅之³、渡辺 秀人¹、杉浦 信夫¹
 (¹愛知医大・分医研、²愛知医大・解剖、³防衛医大・防衛医研セ)
- P-121 Roles of ganglioside GD3 in the regulation of microenvironment of Gliomas**
 ○Pu Zhang^{1,2}、Yuki Ohkawa²、Robiul H.Bhuiyan²、Hiroyuki Momota³、Toshihiko Wakabayashi³、Akira Kato³、Yuhshuke Ohmi²、Keiko Furukawa²、Tetsuya Okajima¹、Koichi Furukawa^{1,2}
 (¹名大院・医、²中部大・生命健康、³名大院・医・脳神経外科)
- P-122 ガレクチン-2 はマウス胃粘液由来ムチン MUC5AC と相互作用する**
 ○田村 真由美¹、田中 享²、藤井 智彦³、谷川 尚²、岡 沙織¹、武内 智春²、畑中 朋美^{2,4}、岸本 成史³、荒田 洋一郎¹
 (¹帝京大・薬、²城西大・薬、³帝京大・中央 RI、⁴東海大・医)
- P-123 iPS 細胞由来神経幹細胞を用いた CNTN-NOTCH シグナルに関連する糖鎖の発現解析**
 田中 未佑子¹、板坂 直樹¹、松本 翔¹、豊島 学²、吉川 武男²、大沼 清³、○霜田 靖¹ (¹長岡技大・生物機能工学・神経機能工学、²理研・脳神経科学研究センター、³長岡技大・生物機能工学・システム幹細胞工学)
- P-124 ポリシアル酸の発現に関わる NCAM, STX および PST の発現制御メカニズムの解析**
 ○田中 香帆、石原 幸奈、北島 健、佐藤 ちひろ
 (名大・生物機能セ、名大院・生命農学)
- P-125 Delta-like 1 homolog の細胞膜発現の制御機構の解析**
 ○田嶋 優子¹、後藤 和佳子¹、妹尾 勇弥²、塚本 庸平¹、池田 和貴²、小川 光貴¹、竹内 英之¹、岡島 徹也¹ (¹名大院・医、²かずさ DNA 研究所)
- P-126 MPLA を包埋した OML の免疫応答誘導の検討**
 ○瀧山 あかり、松岡 祐子、小島 直也 (東海大院・工・応用理化学・生命化学)

- P-127 3本鎖および4本鎖糖鎖をもつ抗体の調製**
 ○高島 晶、黒河内 政樹、月村 亘、大隅 賢二、森 昌子、天野 純子、水野 真盛、高田 美生、松田 昭生 ((公財)野口研究所)
- P-128 スギヒラタケ由来レクチン PPL3 はキノコの寄生において重要なデンプン結合性を持つ**
 ○芹澤 里佳²、大津 萌子¹、藤本 香奈¹、深沢 英乃²、伊達 公恵³、坂上 ひろみ^{1,2}、小川 温子^{2,3,4} (お茶大¹理学部化学科、²大学院、³ヒューマンライフイノベーション研、⁴基幹研究院・自然科学系)
- P-129 大腸上皮再生過程におけるフコシル化糖鎖の発現変化**
 ○菅原 大介、秋元 義弘、川上 速人 (杏林大・医・解剖)
- P-130 ナマズ卵レクチンは脂質ラフト依存性エンドサイトーシスにより細胞内に取り込まれる**
 ○菅原 栄紀、本田 捷太、立田 岳生、細野 雅祐 (東北医薬大・分子生体膜研究所・分子認識学)
- P-131 コンドロイチン硫酸-リポソームの調製とマラリアタンパク質との相互作用解析**
 ○塩入 達政¹、土本 純¹、石原 雅之²、Tobias Gutavsson³、Ali Salant³、渡辺 秀人¹、杉浦 信夫¹
 (1愛知医大・分医研、²防衛医大・研セ、³コペンハーゲン大学・医学・寄生虫セ)
- P-132 ショウジョウバエ造血幹細胞における糖鎖機能の網羅的探索**
 ○佐藤 大一、符敦 賢、伊藤 和義、西原 祥子 (創価大院・工生命情報工学)
- P-133 脊椎骨端骨幹端異形成症患者のリンパ芽球様細胞株の産生するヘパラン硫酸の解析**
 ○佐藤 亨¹、水本 秀二¹、大橋 博文²、逆井 悦子²、Nursel H Elcioglu³、三宅 紀子⁴、松本 直通⁴、池川 志郎⁵、山田 修平¹ (1名城大・薬、²埼玉小児医療セ、³Marmara 大学・医(トルコ)、⁴横浜市大院・医、⁵理研・IMS)
- P-134 コレラトキシン B サブユニットを利用した機能性ペプチドの小胞体への特異的送達法の開発**
 ○佐藤 あやの、吉井 優也、是石 真友子 (岡大院・ヘルスシステム統合科学)
- P-135 ニワトリ精子膜マイクロドメインに存在するシアル酸含有糖タンパク質の構造および機能**
 ○是枝 達也^{1,2}、鈴木 英里子^{1,2}、大森 保成^{2,3}、Andrés D. Maturana²、佐藤 ちひろ^{1,2}、北島 健^{1,2}
 (1名大・生物機能セ、²名大院・生命農学、³名大・鳥類バイオセ)
- P-136 マウスの脳下垂体において、galectin-3 は濾胞-星状細胞特異的に発現する**
 ○小林 純子、竹元 小乃美、岩永 敏彦 (北大院・医・組織細胞)
- P-137 グラム陽性菌の Intact cell wall による単核貪食細胞の活性化**
 ○小島 匠平¹、横田 伸一²、小島 直也¹
 (1東海大院・工・応用理化学・生命化学、²札幌医大・医・微生物)

- P-138** 筋分化過程における GM3 のセラミド構造変化の分子機構と意義の解明
 ○郷 詩織^{1,2}、郷 慎司³、橋本 有弘⁴、佐藤 ちひろ^{1,2}、北島 健^{1,2}
 (1名大院・生命農学、2名大・生物機能セ、3川崎医大、4国立長寿医療セ・再生再生医学)
- P-139** 脳梗塞急性期におけるヘパラン硫酸分解機構の解明
 ○高 健太¹、東 恭平^{1,2}、服部 奈津子¹、石川 涼太¹、梅原 健太¹、降幡 知巳³、植村 武史⁴、五十嵐 一衛^{1,4}、戸井田 敏彦¹
 (1千葉大院・薬、2東京理大・薬、3千葉大院・医、4アミンファーマ研)
- P-140** 細胞外環境および増殖シグナルが N-結合型糖鎖の分岐に及ぼす影響
 ○木下 充弘、寺口 瑠果、松本 和樹、山本 佐知雄、鈴木 茂生 (近畿大・薬)
- P-141** レクチンマイクロアレイによる PD-L1/PD-1 の比較糖鎖プロファイリング
 北村 愛花、○松田 厚志 (慶大・医・医化学)
- P-142** 大腸癌における Gb3 の機能解析
 ○北沢 裕昭、田中 祥、藤井 碧、大海 雄介、大川 祐樹、喬 善楼、田島 織絵、古川 圭子、古川 鋼一
 (中部大・生命健康科学部・生命医科学科・糖鎖生物学)
- P-143** 糖鎖プライマー法を用いた C 型肝炎ウイルスの侵入に関する糖鎖の解明
 ○神原 菜佑¹、山口 裕崇¹、鈴木 哲朗²、佐藤 智典¹
 (1慶大・理工、2浜松医大・医)
- P-144** 転写因子 N-Myc による β 4-ガラクトース転移酵素 3 遺伝子の発現制御
 加藤 大志、丹下 梨穂、高橋 大地、○佐藤 武史
 (長岡技科大院・糖鎖生命工学)
- P-145** 赤痢アメーバ Igl レクチンの溶血活性領域の同定
 ○加藤 健太郎¹、牧内 貴志²、橘 裕司²
 (1長崎大・熱研・生態疫学、2東海大・医・基礎医)
- P-146** Neu1 ノックアウトゼブラフィッシュは脊椎の変形と成長障害を示す
 ○岡田 圭司¹、濱岡 百合絵¹、小松 正治^{1,2}、塩崎 一弘^{1,2}
 (1鹿児島大・水産食品生命科学、2鹿児島大・連合農学・応用生命)
- P-147** メダカ初期発生における α 2,6-シアル酸転移酵素の役割の解明
 ○大本 敬之^{1,2}、呉 迪²、橋本 寿史²、日比 正彦²、佐藤 ちひろ^{1,2}、北島 健^{1,2} (1名大院・生命農学、2名大・生物機能セ)
- P-148** 側鎖構造が異なる複合型糖鎖を有する抗体の作成とエフェクター機能
 ○大隅 賢二、森 昌子、黒河内 政樹、月村 亘、高島 晶、権田 安則、高田 美生、水野 真盛、松田 昭生 ((公財) 野口研究所)
- P-149** マウスヒアルロニダーゼ 4 の生体内における機能の解析
 ○大川原 将記、水本 秀二、山田 修平 (名城大・薬・病態生化学)

- P-150 ICR マウスの各臓器におけるヒアルロニダーゼ 4 mRNA の相対的発現量の解析**
 ○遠藤 大樹、水本 秀二、山田 修平 (名城大・薬・病態生化学)
- P-151 O-グルコース糖鎖キシロシル化の Notch 品質管理とシグナル伝達における役割**
 ○浦田 悠輔^{1,2}、齊木 颯¹、塚本 庸平¹、妹尾 勇弥¹、日比 英晴²、竹内 英之¹、岡島 徹也¹ (1名大院・医・機能分子制御学、2名大院・顎顔面外科学、3かずさ DAN 研究所)
- P-152 脊椎動物 CMP-シアル酸合成酵素の C-末端ドメイン依存的活性制御の発見**
 ○呉 迪¹、戸田 さくら^{1,2}、Pierre-André Gilormini³、Yann Guerardel³、佐藤 ちひろ^{1,2}、北島 健^{1,2} (1名大・生物機能セ、2名大院・生命農学、3Unit. Glyco. Struc. Func., Lille Univ 1.)
- P-153 基質特異性の広い Sphingobacterium 属由来万能シアリダーゼの発見と性質解析**
 ○岩木 佑弥^{1,2}、竹川 薫³、佐藤 ちひろ^{1,2}、北島 健^{1,2} (1名大・生物機能セ、2名大院・生命農学、3九大院・農)
- P-154 グリセロールリン酸供与体 CDP-グリセロールの哺乳動物における定量分析**
 ○今江 理恵子¹、萬谷 博¹、津元 裕樹²、石渡 俊行³、遠藤 玉夫¹ (1都健康長寿研・分子機構、2都健康長寿研・プロテオーム、3都健康長寿研・高齢者がん)
- P-155 高脂肪食負荷に伴う視床下部炎症におけるガングリオシドの機能的役割**
 ○稲森 啓一郎¹、狩野 裕考¹、新田 昂大¹、井ノ口 仁一¹ (1東北医薬大・分生研機能病態分子学)
- P-156 C-マンノシル-トリプトファンは C-マンノシル化タンパク質合成を介して生成する**
 ○井内 陽子¹、櫻井 翔¹、南方 志帆¹、井邊 公章¹、奥 陵佑¹、眞鍋 史乃²、木下 タロウ³、伊藤 幸成²、井原 義人¹ (1和歌山県立医大・医・生化、2理研、3大阪大学・微研)
- P-157 質量分析を用いたフコース認識レクチン PhoSL とその変異体の糖鎖結合能解析**
 ○和泉 雅之¹、橋本 桂吾¹、岡本 亮²、梶原 康宏² (1高知大・理工、2阪大院・理)
- P-158 トリプシンと比較したウシ膵臓キモトリプシン類の糖結合性とその機能探索**
 ○石塚 陽奈子¹、伊奈 智恵子¹、竹川 寛子¹、伊達 公恵²、小川 温子^{2,3} (お茶大・1大学院理学、2ヒューマンライフイノベーション研、3基幹研究院・自然科学系)

- P-159** ラクトフェリン誘導体の細胞内輸送メカニズム：糖鎖認識と脂質ラフトを介した制御
○飯森 愛美、松崎 巧実、佐藤 淳、中村 真男
(東工大院・バイオ情報メディア)
- P-160** ポリシアル酸転移酵素 STX と PST の悪性形質への関与
○荒木 映莉乃、津田 佳奈、北島 健、佐藤 ちひろ
(名大・生物機能セ、名大院・生命農学)
- P-161** 免疫細胞レクチン Siglec-9 の新規シアル酸結合部位 site2 が関わるリガンド結合性解析
○朝比奈 佑希、吉村 淳、北島 健、佐藤 ちひろ
(名大・生物機能セ、名大院・生命農学)
- P-162** Fc 結合糖鎖の Man α 1-6 側鎖に結合する末端 Gal が抗体医薬品の生物活性に重要である
○青山 道彦¹、橋井 則貴¹、月村 亘²、大隅 賢二²、原園 景¹、多田 稔¹、木吉 真人¹、松田 昭生²、石井 明子¹ (¹国立衛研, ²野口研)

「JSCR Newsletter (日本糖質学会会報)」Vol 22 No 2 2019年1月5日発行 4ページの記事に誤りがありました。

優秀講演者・齋藤 泰輝 氏の受賞タイトル

誤) キャリアタンパク質特異的なアミノ酸配列による Lewis X 修飾機構の解明

正) フコース転移酵素による特定のタンパク質への Lewis X 修飾機構

読者の皆様ならびに関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

JSCR Newsletter (日本糖質学会会報) Vol. 23, No. 1

2019年7月25日 発行

編集兼発行 日本糖質学会

会長 深瀬 浩一

〒103-0014 中央区日本橋蛸殻町1-38-12

油商会館3F

TEL: 03-5642-3700

FAX: 03-5642-3714

JSCR Newsletter 編集委員会

石田 秀治

門松 健治